

花づくり、これだけは知っておきたい



カトレア (タンソ病)



セントポーリア (タンソ病)



カンナ (クギグサレ病)



(アメリカシロヒトリ)



シラン (タチガレ病)



アジサイ (カッパン病)



チューリップ (ハイロカビ病)



ゲンバユミシの被害



サイネリア (リンモン病)



ヒメシャガ (シラキヌ病)



アスター（イチョウ病）



（アブラムシ）



シクラメン（タンソ病）



シクラメン（ネグサレ病）

1. きれいな花を咲かせる肥料の知識

植物は生きて行くためにいろんな物質を吸収します。そして物質を合成したり、又分解したりします。植物が必要としている元素は16～17種類といわれています。物質をいろんなところから取り込みますが、葉や茎からは炭酸ガスと酸素を吸収し、根からは水とその外に必要な元素を水に溶けている無機イオンの形で吸収します。

この無機イオンの形で吸収する養分のうち比較的多く必要とするものを多量要素、少ないものを微量要素とよんでいます。多量要素の中でも特に多く必要とするものが三つあります。これを三要素と呼んでいます。その三要素とは窒素(N)、リン酸(P)、加里(K)の三つの元素です。

植物が必要な養分は土のなかに含まれていますが、必ずしも十分な量があるわけではなく人為的に補います。これが肥料です。

1. 肥料の三要素

植物を育てる場合に肥料として補う養分は通常先にあげた窒素、リン酸、加里の三要素です。これらの養分は植物が多く必要としていることもあります。不足しやすいことも一因です。

(1) 窒 素

窒素は主として硝酸態(NO_3^-)の形で吸収されます。ところが硝酸態は水に溶けやすく水と共に移動しやすいのですぐに不足します。特に雨が多い時期に不足します。このような性質があるので、窒素を肥料として施用する場合はアンモニア態(NH_4^+)の形にしてあります。土の中には硝酸化成菌という細菌がいて、アンモニア態窒素を硝酸態窒素に変えてくれます。これを植物が根から吸収するわけです。

(2) 磷 酸

リン酸は植物体内でエネルギーの運送屋として重要な働きをしています。リン酸はイオンとして極少量しか溶けていないので、溶けて水と共に流れてしまうことは少ない。しかし、土の粘土に取り込まれてしまったりしているので、必要な量は肥料として補給します。

(3) 加 里

加里は植物体内での物質合成に必要です。土の中では土の粒子に吸着されているので少ししか流亡しません。

2. 肥料の上手な使い方

(1) 基 肥

植物を植える前にやる肥料を基肥(もとごえ)といいます。窒素、リン酸、加里と石灰をやります。まず石灰質肥料を全面にまいてから耕します。そのあと窒素、リン酸と加里をほどこしますが、普通この三要素を含んだ化成肥料を全面にまきます。そのあと軽く土と混ぜます。肥料の量は石灰質肥料(消石灰等)は1㎡当り100g、化成肥料は成分含量や植える植物の種類によって違いますが1㎡当り50～150gの範囲です。

(2) 追 肥

植物が生育している時に不足しそうな肥料をほどこすのを追肥(ついひ、おいごえ)といいます。普通不足する肥料分は窒素ですので、窒素のみを含んだ肥料の硫酸や尿素を土の表面にほどこします。軽く土と混ぜた方が流亡が少ないようです。肥料の量は硫酸で1㎡当り10～20g、尿素は5～10g程度です。

花壇などでは粒の大きい化成肥料を1株に2～3粒土に押し込んでやるのも1方法です。

3. 植物別にみた肥料のやり方

(1) 1 年草

生育期間が数カ月程度なので、基肥としてほどこす化成肥料の量は1㎡当たり100g前後とし、1カ月おきに追肥をやります。

(2) 宿根草

宿根草は生育期間が長く、養分を蓄えているので少しぐらい肥料分が少なくても十分生育しますが、肥料をやった方が生育が良くなります。植え替えのときに基肥として石灰質肥料を1㎡当たり100g、リン酸肥料を50gをまず土とまぜ、次に油粕または鶏ふんを200g、化成肥料50g程度を土と良く混ぜてから植え付けます。

植え替えしなかった時は早春のまだ根が動き出さない内に株から少し離して穴をほり上記の肥料を土と混ぜて埋め戻します。

追肥はあまりやらないほうが良い。特に夏をすぎてから追肥が多すぎると株が腐敗することがあります。

(3) 球根類

球根類も宿根草と同様に貯蔵養分をもっている所以、肥料は多くやらない方がよい。植え付け前に基肥として、石灰質肥料を1㎡当たり100g、リン酸肥料50g、化成肥料50g程度土と混ぜてから植え付けます。追肥はやらない方が無難です。スイセンなどのように毎年植え変えないときは根が動き出す前(スイセンでは9月初め)に上記肥料を球根からややはなして埋め込みます。一般的に球根は無肥料の方が無難です。

- (4) 花木類
宿根草と同様。

4. 肥料の種類

(1) 化成肥料

いろんな種類がありますが、窒素、リン酸、加里が同程度か窒素がやや少なく含まれているものが使いやすく、基肥にほどこした場合の窒素の肥効期間は1カ月弱です。

(2) 有機化成肥料

窒素成分の一部あるいは全部が有機体の化成肥料で各成分含量は10%以下のものが多い。普通の化成肥料に比べて窒素の肥効期間がやや長く1カ月強です。

(3) 大粒化成肥料

接着剤で固めて大粒にした肥料で大きいものはマメタン程度のものもあります。固めてあるので、肥料がじょじょに溶け出し大粒ほど肥効期間が長く数カ月以上になるものもあります。割高ですが宿根草や花木類の肥料として便利です。

(4) 石灰質肥料

カルシウムを含んだ肥料で消石灰、苦土石灰などがあります。

(5) 化学肥料(単肥)

1) 窒素肥料

窒素を主とした肥料で硫酸や尿素などがあって、おもに追肥に使用します。尿素をプラスチックで包んだコウティング肥料もあります。これは肥効期間が1カ月から半年まで種類が選べ便利な肥料です。

2) リン酸肥料

リン酸を含んだ肥料で普通過リン酸石灰を使用します。土壌改良をかねる場合は重焼燐や熔成燐肥が使用されます。

3) 加里肥料

加里を含んだ肥料で塩化加里、硫酸加里等があります。

(6) 有機質肥料

動植物質の肥料で代表的なものとして、油粕、骨粉、魚かすなどがあります。肥効がやや遅く、急激な肥効がないので使いやすい面もあるが、発酵させていないものをほどこすと根に障害がでたり、時には分解のために一時的に土中の窒素を消費するので、窒素不足になることがあります。

第1表 化学肥料の成分含量

窒素肥料名	成分含量%	磷酸肥料名	成分含量%	加里肥料名	成分含量%
硫 安	21	過磷酸石灰	17	硫酸加里	50
尿 素	46	溶成リン肥	20	塩化加里	60
石灰窒素	20	重 焼 燐	35	珪酸加里	20

第2表 各種有機質肥料の成分表

肥 料 名		水 分 %	窒 素 %	磷 酸 %	加 里 %
自給肥料	野 草	75.0	0.34	0.11	0.36
	れ ん げ 草	89.2	0.35	0.08	0.24
	稲 わ ら	12.3	0.57	0.23	1.05
	大 麦 わ ら	12.7	0.41	0.13	1.01
	落 葉	13.6	0.95	0.18	0.20
	モ ミ ガ ラ	11.0	0.62	0.19	0.49
	わ ら 灰	—	—	1.56	4.61
	木 灰	—	—	2.28	7.81
	モミガラ灰	—	—	0.78	2.85
	米 ヌ カ	11.3	2.08	3.78	1.40
市販有機質肥料	油カス	大豆カス	6.7	1.5	2.1
		ナタネカス	4.8	2.5	—
	ス	綿実カス	4.4	2.1	1.4
	魚カス		8.0	7.1	—
	骨粉		5.1	21.0	—
	けいふん(風乾)		2.9	3.1	1.3

注：成分含量は平均的数字であり、おおよその目安として使用して下さい。

Q&A

花づくりこんなときどうする？

Q 農家のチューリップは大きくて立派だが、買ってきて栽培し、花を楽しんだ後で球根を掘りとりてみると、球根の数だけがふえて太りが非常に悪い。

A その理由は、販売球根は立派な花を咲かせるために、仕上げ球から最大に太らせたものですから、これを

栽培すれば繁殖のため3～5球に分かれる段階にきているものです。それで、農家の作った球根は大きく、消費者の球根は、数がふえるけれども1球1球は小さいということです。なお、花を楽しむため長い間咲かせていることも球根の太りを悪くする原因の一つです。

2. 丈夫に育てるよい土づくり

1. 土の役割と性質

(1) 土の果たす役割

よい花は良い植物体から作られます。よい植物体は良い環境によって作られます。では、よい環境はどうして得られるのでしょうか。

植物の環境は大きく分けて地上部環境と地下部環境になります。その地下部環境の基盤になっているのが土です。植物はこの土に根をはって水や養分を吸収します。この外にも土が果たしている役割があります。このことは忘れられがちですが、根が吸収するのに必要な酸素を供給している、根の生育に必要な温度を保っている、植物を固定しているの三つの役割がそれです。この外に根が分びする物質の分解などにも関係しているようです。

(2) 土はなんでできているか

土は砂や粘土のような粒子でできている。でも、それだけではありません。水と空気と沢山の微生物と種々の有機物等で構成されています。

(3) 養分の供給

植物は必要な養分のほとんどを根から吸収します。ですから、土のなかに必要な養分がなければなりません。そして、その養分は根が吸える形になっている必要があります。

植物の必要な養分は無機イオンの形で吸収します。

(4) 水と空気

根は土から体に必要な水を吸い、導管を通して体全体に運びます。また根がいろいろな仕事をするために必要なエネルギーを得るために酸素が必要です。この酸素は土のなかにある空気から取ります。この水と空気は土の粒子の隙間に存在し、水が多ければ空気が少なくなります。水が少なくなれば、空気が多くなります。

(5) 孔隙率

土の容積中の隙間の割合を孔隙率といいます。これが多いと軽い土、少ないと重い土といいます。

(6) 良い土の条件

- 1) 孔隙率が高く、十分な空気を供給できること。
- 2) pHが6～7の間で養分が根に吸われやすい形になっていること。
- 3) ゆっくり分解する有機物が多く含まれていること。

2. 作物の種類と用土の使い分け

(1) 花壇などの土壌改良

花壇など直接地面に栽培する場合は、客土すれば別ですが、そこにある土を使うしかありません。特に宅地として埋め立て造成された所では、建物を建てるには適したよく締まった土ですが、花を育てるには難物です。このような場合はまず、PH を調べてもらい、アルカリ性でなければ改良の余地があります。もしアルカリ性であればあきらめて土を入れ換えるべきです。草花を栽培するだけなら土の厚さは10cmあればなんとかなりますが、庭木もとなると30cmは必要です。

1) 排水

余分な水はすみやかに排水しなければなりません。排水には二つの経路があります。土の表面から流し出す表面排水と、土中の水を地下へ浸透させる排水です。この二つの経路とも十分機能出来るようにしておかなければなりません。表面排水は花壇の高低に合わせて排水路を整備しなければなりません。次に地下への排水ですが、まず作土の孔隙を増やすために堆肥の施用などによる土壌改良を行うこと。下層土の透水が悪ければ、埋め立てた宅地ではほとんどそうですが、暗渠排水工事を行って地下への水の浸透をはかることが必要です。

2) 作土の孔隙を増やす

作土は花が根をはる領域です。根に十分酸素がとどくように孔隙を増やす必要があります。それにはまず耕して土の大きな粒子を作ることです。次に堆肥をほどこすことです。1 m²当り20kg 程度をほどこし作土全体に混ぜ込みます。その後は年に5 kg 程度をほどこします。

(2) 鉢植えやフラワーボックスの土

これらに使用する土はいろんな種類、調合が選べます。作物の種類、大きさ、鉢やボックスの材質や形、管理の方法によって合った土を選べます。一般的な土の調合の一例としては、容量比率で田土が5割、腐葉土またはピートモスが3割、くんたんやバーミキュライトが2割です。

3. 市販用土の種類と特徴

(1) 田 土

いわゆる田んぼの土で、粘土と砂の含量によって性質がある程度違いますが保水力があり、肥料もちも良いものが多い。

(2) 川 砂

排水性がありますが保水力や保肥性が悪い。肥料分がなく、地温が上がりやすい。排水性改善のために土に混入します。さし木床によく使用されます。水や肥料を人為的に操作しやすいのでこまめに管理すれば生育コントロールがや

りやすい。

(3) 山 砂

比較的砂の多い赤土です。病虫害や雑草種子を含まないことから育苗用土のベースとして使用されます。通気性、排水性、保肥性に欠けます。酸性もやや強い場合が多い。

(4) パーライト

軽くて孔隙が多く、通気性改善のために土に混入します。灌水によって浮き上がって表面にたまったり流れだしたりするのが欠点です。

(5) パーミキュライト

軽くて保水性もあり孔隙も多い。パーライトと同様に通気性改善のために混入します。肥料分がなく保水性があるのでは種床用土としてよく使われます。

(6) 海成軽石

孔隙が多く保水性もあり粒状ですので、通気性の改良のために混入します。重みもあるのでランの用土としても利用されています。

(7) 腐葉土

良質の堆肥として土に混入されます。排水性、通気性、保水性、保肥性を改善します。

(8) ピートモス

寒冷地の湿地にできた泥炭で、保水性、通気性が良いのでこれらの改善のために土と混入します。酸性が強いので消石灰も同時に混入します。酸性を中和ずみのものもあります。

4. 簡単な堆肥や腐葉土の作り方

市販の容器や土に穴を掘って作る。良質の堆肥にするには、積み替え(切り返し)を3～6カ月後に行って十分発酵させます。

材料は落葉、わら、干し草、縄のきれはしなどが最高ですが、生草や野菜くずなどでも作れます。この場合は水分が多すぎるので、少し乾かしてから積み込みます。

十分発酵させるためには、水と空気と肥料が必要です。

(1) 水 分

堆肥として積み込む前に生草などは重さが半分になるくらいまで乾かします。ワラや干し草は水をかけて湿らせておきます。積み込みする時に水をかけて、軽く握ったときに水がしみ出るくらいにします。積み込んだら雨水などがしみこまないように屋根をします。

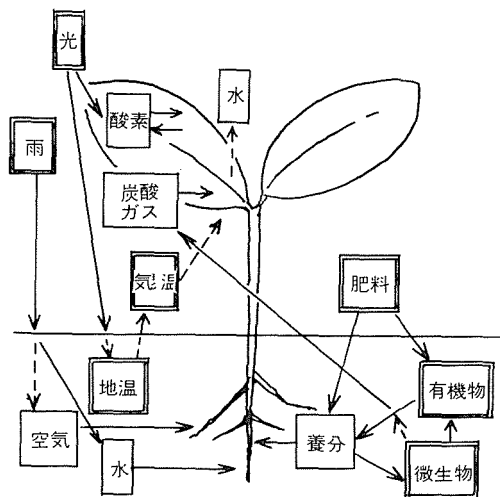
(2) 空 気

積み込みの時、材料がワラ等の場合は踏み込みますが、生草などが材料の場合は固くしすぎないように。通気性が必要なので、肥料袋やゴミ容器などで作

る場合は穴を底や側面に適当に開けておきます。

(3) 肥料

堆肥10リットルあたりタマゴカラや蟹ガラを20～50g、米ヌカ500gまたは油カス200～300gを混ぜ込みます。



第1図 植物と環境

Q&A

花づくりこんなときどうする？

Q 繁殖能率の劣るルードウィヒ系の大輪アマリシスの増やし方は。

A 鱗片挿しを行います。7月ごろに球根を掘り上げ、球根の中心を通して8～16に縦割りとし（ミカンの房を分けたような切片となる）更に鱗片を2枚ずつへたの部分につけて、沢山の小片に分割（ツインスケリング）し、パーミキュライト（赤土、砂でもよい）の挿床に、鱗片の先を少し出して挿します。やがて基部に小球ができるので、苗床で3～4年養成すると開花します。

Q 大きくて立派なダリアの球根を植えこんだが、いつまでたっても発芽しない。

A ダリアは球根そのものには芽がなく、球根がついている茎の基部の周囲に新しく伸びてくる芽があるものです。春になって、幾つもついている球根を分けるとき、その芽をそれぞれの球根につけてやるべきところを、たまたまつけなかったか、折角つけた芽を損傷したためでしょう。また、球根の首の細い部分が折れたり、乾燥し過ぎた場合にも芽が出なくなります。

3. 草花の殖やし方

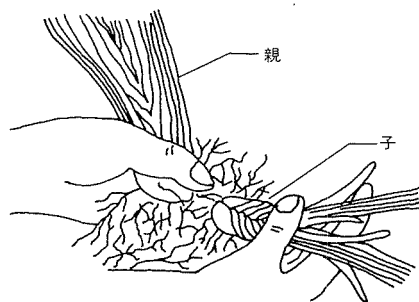
草花の繁殖を大別すると、種子繁殖と栄養繁殖に別けられます。種子繁殖とは種子からふやす方法で、おもに1・2年草で行なわれます。栄養繁殖は親株の一部を分ける方法で、株分け、さし木、分球、とり木、つぎ木、根伏せ、バルブ植え、さらには組織培養などがあります。主に宿根草、球根、洋ラン、観葉植物、花木などで行なわれます。

栄養繁殖は種子繁殖よりも早く開花させることができ、しかも種子のできない種類のものを殖やすことができるという長所から、植物の根・茎・葉などの植物体の各部を用いる、株分けやさし木、つぎ木などの方法が古くから行なわれてきました。ここでは草花を中心とした栄養繁殖の方法について紹介します。

1. 株 分 け

主に宿根草の場合ですが、ある程度大きくなったものは、植え替えのときに株分けして植えつけます。洋ラン類や観葉植物も株がふえて鉢いっぱいになっている場合には株分けして、それぞれ、新しい鉢とコンポストで植え替えします。時期は5月上旬から9月上旬までです。

洋ランのシンビジウムはバルブを3つ以上つけて株分けし、また観葉植物のアナナスは、子株が大きくなってから基部をつけて親株から切り離し、基部に水苔を巻いて植えるるとよい。



根をいためないように手で左右にはがす

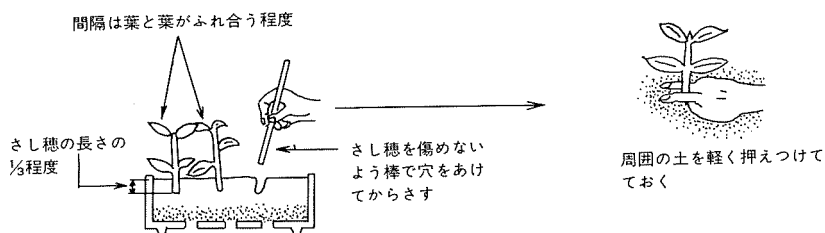
2. さ し 木

一般に樹木をさし木する場合は「さし木」、草花をさす場合は「さし芽」と使い分けていますが、どちらの言葉を使っても内容に変わりはありません。またさし木の方法により、茎ざし、根ざし、葉柄ざし、茎伏せ、根伏せ等に分け区別しています。

さし木の用土は雑菌のいないきれいな土を使います。赤玉土、鹿沼土、川砂バーミキュライト、パーライト、水苔等が使われます。

さし床の深さは7センチ程度が適当です。キクなら8センチくらいにとってきて、6～7センチに、ポインセチアは10センチくらいにとってきて、8センチく

さし木のしかた



らいに、よく切れるナイフで切りもどし、水を十分吸わしてからさし木します。さし木する際に発根しにくいものは、発根促進効果のあるメネデル液につけてからさすか、切り口にルートン(発根剤)をまぶしてやると、とてもよく発根します。

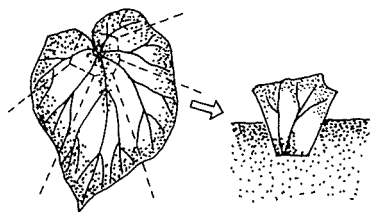
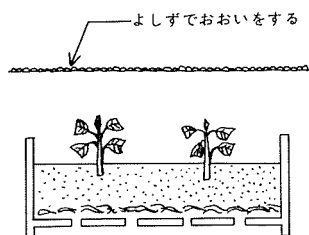
- (1) 茎さし……キク、木立ペコニアなどみずみずしい茎をもつものは、頂芽を8～10センチの長さに切り、節の下を直角に切り、下葉を2～3枚取りのぞいて準備した用土に、葉が触れ合わない程度にさす。

ゼラニウム、カランコエなどの茎は乾燥に耐える性質があるため、まる1日、日陰に置いて切り口を乾かしてさすようにします。水分が多いと切り口から腐りやすい。

- (2) 葉さし……よくおこなわれるペコニア・レックスは1枚葉の葉脈の分岐点の部分を切り、砂、パーミキュライトなどに伏せ込むようにさす。

サンスベリアは葉を約10センチに切り、上と下を間違えないようにしてさす。斑入り種は斑が出なくなってしまうので、株分けのほうがよい。

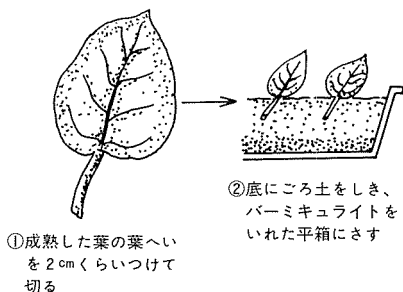
シャコバサボテンはこれらと違い、



レックス=ペゴニア
葉脈の分かれめから発芽するので
この部分を葉片につける

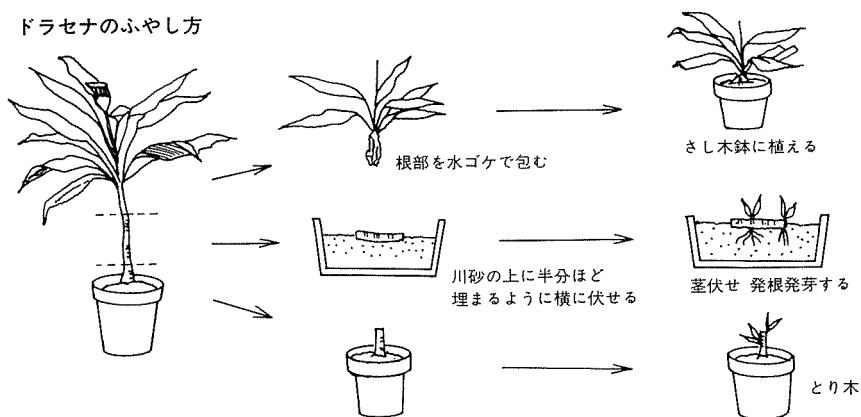
水苔を葉にまいて行なう方法と、用土の上にただ切った葉を寝かせておくだけという簡単な方法の二通りがあります。

- (3) 葉柄ざし……セントポーリア、ペペロミア類のさし木は、葉柄ざしという方法で行ないます。7月ごろ健全な成株の葉をつけ根から切り取り、葉に対して葉柄を2センチくらいつけて切ります。葉柄を約2センチ、葉のつけ根が用土につくようにさします。セントポーリアは2号ポリ鉢に直接さしたほうがよい。

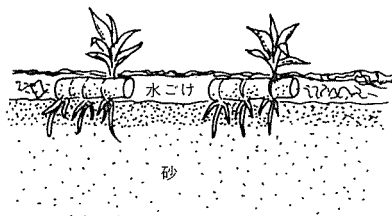


- (4) 茎伏せ……ドラセナは5月から9月までなら、いつでも茎伏せで殖やすことが可能です。この場合、下の図のように間伸びしたものを利用すると、茎ざし、茎伏せ、とり木と、3つの方法が一度に楽しめます。

ドラセナのふやし方

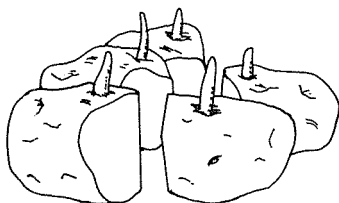


- (5) 根伏せ……サンスベリア類、コルジリネ等は根伏せで殖やせます。コルジリネの場合は、まず3センチくらいに根を切り、それを湿らせた水苔の中に埋めます。水苔が乾かないように管理します。

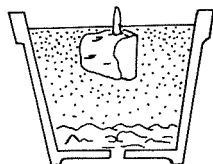


3. 分 球

球根鉢花の分球は、小球根のロードヒポキシス等は自然に分球するので、植え替えの際に大球を選んで植えます。またグロキシニア、カラジュームなどは大球で芽が多いので、球根を切り分けて殖やします。適期はさし木に準じますが、必ず芽をつけて分球し、切り口には殺菌剤を塗っておきます。



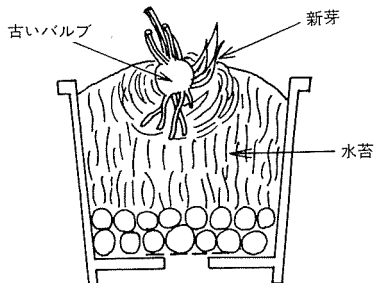
芽をつけて分割する



ふつうの球根と同じように鉢植えする

4. バルブ植え

一般にラン類で多く行なわれる方法です。花の終わった親株はやがて退化してバックバルブとなります。このバックバルブを大きな株に、そのままつけておくと、やがて自然に退化してしましますが、バックバルブをひとつ、ひとつ切り離し、新しい水苔で包んで植え込みますと、やがて新芽が出てきます。たいへん貴重な品種はひとつのバックバルブも無駄にせず育てて下さい。



4. 花を病気や害虫から守る

1. 防除のポイント

- (1) 病気は予防が重点、害虫は見かけたらすぐ駆除することが大切です。
- (2) 種子や苗、球根は病気や害虫のついていないものを選びます。
- (3) 肥料はやり過ぎないようにします。
- (4) 根ぐさを起こさないよう過度の湿気や乾燥に気をつけます。
- (5) 間引き、枝すかしをして通気と採光をはかり、密植しないようにします。
- (6) 病害虫の蔓延源になる雑草をこまめに除きます。
- (7) 咲き終わった花、病葉、枯枝は早めに取り除きます。
- (8) ウイルス病や軟腐病などは鉢や指先からも感染しますから注意します。
- (9) 前作で病害虫の発生があった所に同じ植物を植えないようにします。

2. 上手な農薬の使い方

- (1) 農薬のえらび方
 - 1) 食害性の害虫には……駆除だけのマラソンやDDVPよりも持続性のあるカルホスやEPNの方が合理的です。
 - 2) 吸汁性の害虫には……接触作用だけのマラソンなどより全身性(浸透移行性)を兼ねたエカチンやオルトランが合理的です。
 - 3) 土壌害虫には……揮発性の高いダイアジノンなどを土に灌注します。
 - 4) 病気には……細菌による病気(軟腐病など)には銅水和剤かストレプトマイシンを主成分とする薬を、かびによる病気(灰色かび病など)にはベンレートやダコニールなどを用います。
 - 5) 混合液は効率的……EPNにエカチンを加えるとほとんどの害虫に効きますし、ベンレートにマイシンを加えとかび・細菌の両方に効果があります。
- (2) 農薬の使い方
 - 1) 散布量のめやす……(ア)必要量だけとかします。(イ)乳剤・水和剤など水でうすめる薬剤は1㎡当り100～200ml程度散布します。(ウ)粉剤は1㎡当り2～3gr、粒剤は1㎡当り4～6gr(1株当り2～5gr)程度を目安にします。
 - 2) 散布上の注意事項……(ア)薬液は葉裏にも、(イ)噴霧はできるだけ細かく、(ウ)葉全体に細かい霧がつく程度に、(エ)噴口は適度に離して、(オ)粉剤はうっすらと埃をかぶった程度に、(カ)粒剤は均一に株元に、(キ)マスク、手袋をして使用、(ク)風上から、(ケ)散布中に飲食しない、(コ)器具の洗浄や残液の始末と石鹸の手洗いの励行などが大切です。

3. かかりやすい病気(10種)

- (1) 灰色かび病……花卉や蕾、若葉や新芽などに灰色のかびが生える病気で、春秋の気温が20℃前後で多湿なときに発生します。病気にかかったものは早く摘みとって、多湿にならないよう、通風に注意します。温室やハウスで要注意です。
- (2) ウドンコ病……花・葉・新梢などにうどん粉のような白いかびを生じて、葉がねじれたり萎凋したり奇型化することもあり、春秋に多発します。
- (3) 軟腐病……細菌による病気ですが、多汁質の植物に多発します。傷口から病原細菌が侵入して腐敗が起きますから害虫の駆除も大切です。
- (4) 白絹病……株元が黒く腐ってその上に白い絹糸状のかびと粟粒のような褐色の菌核ができます。被害株は早目に処分して、その土壤を消毒しておきます。
- (5) ウイルス病……茎葉が萎縮したり、ねじれたり花や葉にモザイク斑やえそ斑を生じる全身的な病気です。予防薬も治療薬也没有から、感染を回避するためアブラムシを防いだり、接触や汁液による感染に気をつけます。
- (6) さび病……茎葉の表面に白色、橙黄色や褐色の粉質の胞子をつくりませんが、やがて葉が黄化枯死して落葉したりします。
- (7) 立枯病……茎の地際部や根が侵されて枯れていく土壤病害で、茎腐れ、根腐れのほか症状によって紋枯病、苗立枯病などの呼び名があります。
- (8) 菌核病……葉のつけ根が腐ったり茎まで腐って全株枯死したりしますが、患部に白いかびが生え、この部分に黒いねずみの糞のような菌核をつくります。
- (9) ベト病……葉に黄褐色のぼやけた斑紋ができて、この葉裏には薄く白い霜のようなかびが生える病気です。低温多湿で発生します。
- (10) 根こぶ病……生育がだんだん遅れて日中にしおれたりします。この株を抜いてみますと根にこぶができています。(根こぶ線虫のこぶより大きい)

4. つきやすい害虫(10種)

- (1) アブラムシ……特に若い新梢、芽、蕾、葉の部分の吸汁加害によって萎縮や歪曲、生育不良、変色枯死を起こしたりウイルス病の媒介をします。
- (2) ヨトウガ……幼虫はヨトウムシとも呼ばれ、ふ化幼虫は集団で葉裏から表皮を残して食害しますが、成長すると分散して日中は陰にかくれたり土中にひそんでいて夜間出てきて食害します。幼虫が大きくなると防除が困難ですから、早目に駆除することです。周辺の雑草の除去にも努めます。
- (3) ハダニ……葉の上に蜘蛛が糸をはったようになって小さい虫が這っています。生育不良や葉が白っぽくなったりします。乾燥や肥切れにも注意が必要です。
- (4) オンシツコナジラミ……葉の裏に白い小さい虫がいっぱい付着して盛んに飛びます。この虫がいる葉にはすす病が発生しています。温室やフレームでの発生がふつうですが、夏には露地での発生もみられます。

- (5) アオムシ……ハボタンなどのアブラナ科植物に多く発生します。葉を食べて穴をあけますが、モンシロチョウの幼虫です。春～秋に発生しますが、真夏には減少します。丹念に見廻って早目の駆除が大切です。少ないときは捕殺します。
- (6) メイガ……幼虫が成長点に食い入って内部を食うので、途中から虫糞が出たり、芯止りになったり生育が悪くなります。高温乾燥時、幼苗期の被害が大きいです。
- (7) コナガ……葉が白くなって小さい穴をあけます。葉裏には緑色の小さいイモムシがいます。年間10回以上も発生しますが、早目の防除が必要です。
- (8) コガネムシ……マメコガネなどは成虫は葉をかじりますし、幼虫も乳白色で大きく、土中での根の食害が甚しく根がほとんどなくなって生育が悪くなり、花が咲かなかったり枯れたりします。こまめに捕殺して、多発の場合は薬剤の土壌灌注を行います。
- (9) ナメクジ、カタツムリ……軟い新葉や花などが一夜のうちにカジられて穴があいたり切られたりします。ナメクジの這った跡が白くすじ状に残っていれば鉢裏など調べて捕殺します。ナメクジ剤の使用も有効です。
- (10) ネコブセンチュウ……根に大小の虫こぶができていて生育が目に見えて悪くなります。土壌消毒をするか、回避の対抗植物マリーゴールドを植えるのもよいでしょう。

5. 主要病害虫の防除一覧

病 名	殺 菌 剤
灰色かび病	ベンレート、スミレックス、ロブラール、トップジンM、マンネブダイセン、ダイセン
ウドンコ病	モレスタン、サブロール、トップジンM
軟 腐 病	銅水和剤、ストレプトマイシン剤
白 絹 病	バシタック、PCNB、トップジンM
ウイルス病	(殺虫剤による媒介害虫の駆除)
さ び 病	プラントバックス、ダイセン、バシタック、ダイファー
立 枯 病	ダコニール、ベンレート、トップジンM、タチガレン
菌 核 病	スミレックス、ロブラール、ベンレート、トップジンM
べ と 病	ダイセン、エムダイファー、マンネブダイセン
根 こ ぶ 病	PCNB、コプトール、アースサイド

害 虫	殺 虫 剤
ハダニ	ケルセン、アカール、モレスタン、エイカロール
オンシツコナジラミ	エルサン、モレスタン、スプラサイド
アオムシ	マラソン、オルトラン、除虫菊剤
メイガ	スミチオン、オルトラン、デブテレックス
コナガ	オルトラン、アクテリック、トクチオン、エルサン、パプチオン
コガネムシ	カルホス、DDVP、ダイアジノン
ナメクジ、カタツムリ、ダンゴムシ	デナボンベイト、グリーンベイト、ナメトックス
センチュウ	(クロールピクリン、メチルプロマイド)、ネマレート、ネマモール、石灰窒素
アブラムシ	オルトラン、ダイシストン、アクテリック、デブテレックス、エカチンTD
ヨ ト ウ ガ	スミチオン、オルトラン、デブテレックス

Q&A

花づくりこんなときどうする？

Q 秋植え球根類の追肥は、いつ、どれほどやればよいのか。

A 秋の植えつけ時の基肥のうち、窒素成分は、春までに流亡して欠乏状態です。といって春暖かになっての追肥は、おそ効きとボトリチス病や球根腐敗病の多発が心配です。そこで、年内で肥料成分流亡の恐れがなくなる地温5℃以下の季節（降雪直前）になったら、化成肥料（三要素各15％程度）25～30g/m²を花壇の表面にばらまいてやります。ユリ類のように翌春以後生育期間の長いものは、年末の追肥よりも融雪直後と花後に、前記と同様の施肥をします。

Q 秋植え球根類の花後のお礼肥えは必要か。

A 必要ありません。大部分の秋植え球根は、開花期までに茎葉への肥料栄養の吸収と生育がほぼ終わって、以後は葉から球根へ貯蔵栄養が送られるだけです。

したがって、花後の肥料は球根肥大に役立たず、根から球根へ直接肥料成分が移行してその濃度だけが高まり、球根腐敗病などの発生が多くなる恐れがあります。なお、ユリ類のように生育期間の長いものは、当然追肥が必要です。

5. これだけは揃えたい園芸用具のいろいろ

家庭で使う園芸用の用具は、それほど多くは必要としません。最低、これだけ備えておけばよいというものを紹介します。

1. 剪定するための用具

(1) ハサミ類

園芸用のハサミとしては、植木バサミ、剪定バサミ、生花用ハサミの3種類あります。それぞれ用途がありますので、全部揃えるにこしたことはありません。

しかし、どれか1つを選ぶとすれば各種の用途に向く、植木バサミを用意します。

植木バサミは先端がよくとがり、やや細めのものが使いやすく便利です。

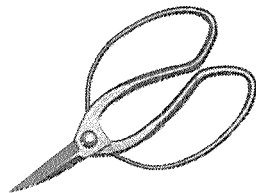
2. 灌水するための用具

(1) ジョウロ (如露)

蓮口 (水の出る部分) の取りはずしができるものを求め、水が広がって出る平口と、まとまって出る丸口の蓮口を取り替え用として準備し使い分ければ便利です。

(2) 水さし

吊り鉢用の用具として必要です。水の出る部分がぐっと上のほうに向いているものを使ったほうが、細かい枝葉の間にも平均して水やりができ、また、鉢土に水の勢いをつけずに水やりができます。



3. 用土を調整するための用具

(1) フルイ

花だんなど、一般の栽培には特に必要ありませんが、種まきなどするときには必要です。

まき床の土づくりをするときにフルイがあると、土がふるい揃えられて作業がしやすく、便利です。

4. 除草するための道具

(1) 除草ナイフ

細かく植わっている中に生えている雑草をとるときには、たいへん便利です。除草ナイフとして市販されていますが、一丁備えつけておくに役立ちます。

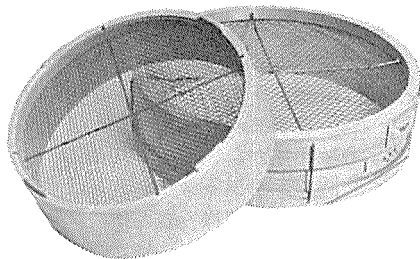
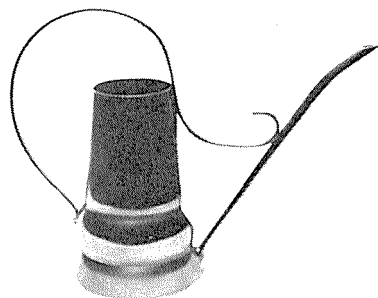
(2) コガマ (小鎌)

除草用具としては、最も簡単なのは小鎌を用意しておくことです。普通の草刈り鎌と、稲刈り鎌が使いやすさから適しています。

5. 薬剤を散布するための用具

(1) 噴霧器

薬剤 (水溶性の薬剤) を散布するには欠かせない用具です。小型で簡便なスプレー式から、手押し



の半自動式、大型の全自動式までいろいろありますが、一般家庭としては、5～10ℓ程度の手押し噴霧器は必要です。

6. 土を掘り、耕すための用具

(1) 移植ゴテ

ちょっとしたものを掘ったり、移植をするとき、肥料すくいや混合など、細かい仕事に利用できます。買うときは柄と刃の境目ががっちりして、折れ曲がらないよう丈夫なものを選びます。

(2) シャベル

土を掘り起こすのには欠かせない用具です。普通に使う大型のものが一丁あれば十分です。柄がまっすぐでつけ根のしっかりしたものが使いやすい。

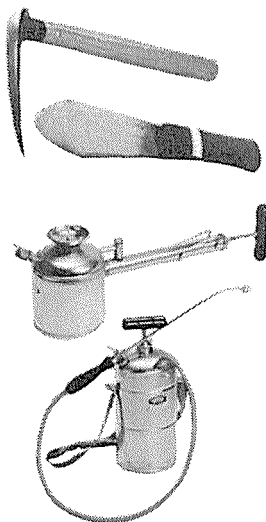
(3) クワ(鍬)

土を耕したり、畝を作るときに必要です。いろいろの形のものが市販されていますが、多少値段が高くて、やや重量があり、切れ味のよいものを選ぶことが必要です。

(4) レーキ

土をならしたり、落葉、ごみを集めたりするときにあると便利です。

かがんで使う6～8本爪の小さいものから、立ったまま使う大きい20本爪位までいろいろあるので、用途にあわせて準備します。



Q&A

花づくりこんなときどうする？

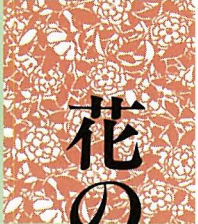
Q クジャクサボテンを栽培していますが、大きくなるばかりで花が咲きません。どうしたら咲くようになりますか。

A クジャクサボテンは他のサボテンと同様、春と秋によく伸びますが、真夏は苦手で、特に強い直射日光にあてると弱りますので、寒冷紗等で50%ほどしゃ光した場所に置きます。肥料は春から初夏にかけて施すようにし、

夏は休んで勢力の維持につとめます。

冬はガラス越しの光によく当てるようにし、乾かしぎみに育てます。冬に水分が多いと花芽がつかないので、水やりをひかえて、葉が赤味を帯びるほどに乾かして育てると、花芽がよくつきます。

植え替えは2～3年に1回とします。あまりひんぱんにすると葉状茎だけがよく繁茂して、花つきが悪くなります。



花の楽しみ方いろいろ

寄せ植え



室内花だん



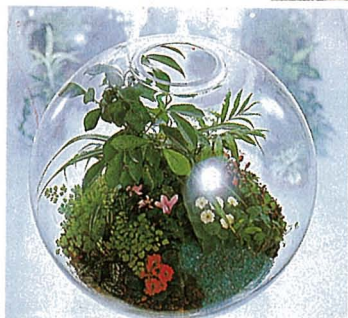
室内花だん

鉢・寄せ植え





テラリウム



水栽培



ヒヤシンス



チューリップ



水と花(砺波市チューリップ公園)

花のデコレーション



1. 吊鉢で楽しむ草花

明るく大きなガラス窓は室内へ十分に光を導き、高い天井は生活空間を広く伸びやかにします。そして、机、イス、或いは応接セットなど、住居の洋風化と共に、鉢花を飾り吊鉢を楽しむといったことが、日常あたりまえのこととなってきています。

ことに吊鉢は割合に新しい園芸の楽しみ方で、床から離れた空間に明るい色彩の花が咲いていたり、浅緑の観葉植物の蔓が静かに垂れているなど、いわゆる意外性がある心楽しいものです。当然のことですが、そこに用いられている植物がなんであるかも興味のあることではありますが、吊るす鉢やそのカバー、あるいは吊具(フックやロープなど)などに凝ってみるのも趣きのあるものです。

1. 吊り場所を選ぶ

吊り鉢はその位置を決定すると、ほとんど固定的で、そうたびたび移動するものではありませんから、インテリアとしての効果も十分に考えて決めたいものです。したがって、その吊り鉢に用いる植物の種類によって、それぞれに応じた太陽光が得られる位置で、しかも日常生活の妨げにならないことなどが大切です。

多くの観葉植物では、直射日光の入る窓辺よりも反射光が十分に入る程度の場所で、その葉色が適切な本来の色を示してくれたり、好光性で明るい花色の鉢花では、直射光の当たる窓辺で、レースのカーテンを1枚引いたような状態のところが適当でしょう。

真夏の直射日光が当たるようなところでは、葉焼けをおこして、葉の本来の美しい緑を損うもので、よくよく注意が肝要です。なお、ほとんど日光に当たらないような場所に吊るすような場合には、5～7日に1回、場所を移動して、日光に当たるようにしてやる配慮が必要です。

2. どんな植物を選ぶか

吊り鉢向きの植物といえば、とかく蔓性のものを連想しがちです。下垂する芽を摘んで茎の長さを調節してやれば、当然、茎の数も多くなり、ふさふさと繁って見た目にもよいのですが、一方では横に張って吊り鉢を覆うしだ類などいろいろあります。一般に蔓性の観葉植物が

吊り鉢のいろいろ



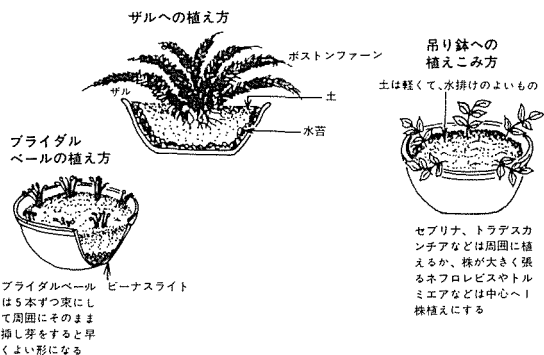
普及していますが、立ち形の観葉植物、草花類も多く用いられます。

- (1) 蔓性植物：アイビー、エキナンサス、オリヅルラン、サクララン、セダム、ポトス、ボストンタマシダ、ブライダルベール、トラデスカンチアなど。
- (2) 立ち型の植物
 - 1) アジアンタム、アスパラガス、ペゴニア、マソニアーナ、ペペロミア、マランタなど。
 - 2) ペゴニア、シャコバサボテン、インパチェンス、コリウス、セントポーリアなど。
- (3) 以上のほかに、イチゴ、プチトマト、パセリなど野菜類も楽しんでいます。

3. 手作りの吊り鉢

市販の吊り鉢は5～7号鉢が主体で、簡単に吊すだけで楽しむことができますが、折角ですから自分で好きな植物を選んで、好みの鉢に植え込んでみたいものです。

蔓性の観葉植物ならさし芽で、シダ類なら株分けで、あるいは、1年生の草花類ならば幼苗を、それぞれに使用する鉢に見合った本数だけ、さし芽や植え込みを行います。また、一つの鉢に、上に伸びる植物と下がる植物、花の咲くものと観葉ものなどを、配色よく混植すれば、市販のものには見られない手作りの味わいを楽しむことができます。なお、混植の場合は、日照、土壤水分など栽培条件の似た植物を選ぶこ



＊花と伝統文化

祭り と 花

◇ぼたん

全国各地のお祭りで、子供たちが、山車や鉦や引出物を引く光景がみられます。それらの子供たちは、いずれも花笠をかぶっていますが、その花笠の飾りはほとんど牡丹の花の造花だと言われています。

◇さくら

紀州熊野や京都の今宮各神社では、今日なお伝統の鎮花祭があります。桜その他の美しい花を瓶に入れ、その瓶の中には宝剣が隠されていて、悪疫を流す悪神が花に魅せられて集まると、宝剣にふれて死滅すると伝えられています。

とが大切です。

4. 鉢 と 土

吊り鉢にはいろんなものがあるので、生育に支障がなくて吊り場所や植物との釣り合いがよければ自分の好みで選びます。また、吊り下げるといふ点から考えて、あまり重いものは使用しない方がよいでしょう。

用土についても、吊すものですから重いものは避けて、なるべく軽く、通気性に富んでいて、水もち、肥えもちのよいものを用います。例えば、赤玉土、腐葉土(又はピートモス)、バーミキュライト(又はパーライト)を5:3:2ぐらいの割合で配合し、鉢底にはゴロ土に代えて、発泡スチロールの砕いたものを入れるなどしてやるといいでしょう。

5. 管 理

- (1) 水やり：吊り鉢の水やりは、鉢土の表面が白く乾き始めたら、鉢底の穴から水が流れるくらいたっぷりと与えます。何日おきに鉢が乾き水やりが必要になるか、その鉢の大きさや用土の質、植物の種類、季節などでいろいろ違うので、鉢土の水分と土の表面の乾き具合の変化などを、よく観察して心得ておくことが大切です。

水やり作業は、暖期は戸外で、寒期は室内(浴室など)で十分に灌水を行い、よくしずくをきってから室内に吊り下げます。

- (2) 肥 料

秋のはじめまではどんどん生育し、新しい根や葉を出し、また、花をつけるといったことで、月に1回、粒状の化成肥料を4号鉢でひとつまみ、液肥ならば10日～2週間に1回灌水がわりに施します。油かすなど異臭の発生する有機質肥料を与えることは避けます。一般に冬季間の施肥は行いません。

花 と 演 劇

◇きく、さくら、ふじ

八重垣姫が歌舞伎で美しい菊模様の衣裳を着けており、能の猩猩でも菊のものを用いています。

また、白浪五人男(道成寺)には桜が使われていますし、舞踊の藤娘では衣装や舞台に藤が使われています。

そのほか、能や歌舞伎、舞踊では、舞台の飾りや、背景に牡丹を用いることが多いこともよく知られています。

(3) 株の手入れ

- 1) 株の姿を整える：蔓や葉が伸びすぎて株の姿が乱れることがよくあります。また、葉がすかすかでもっと株を茂らせたい場合もあります。

伸びすぎて乱れた株では、茎や葉を間引いたりかきとったりしてやります。また、すかすかの株は摘芯をしてわき芽を伸ばし、茎葉の数をふやして株張りをよくするように努めます。損傷を受けて見苦しい茎や葉は、見つけ次第に取り除いたり、常にすっきりとした草姿に整えておきます。

- 2) 葉を美しく保つ：室内で栽培、観賞するものですから、葉の表面がちりやほこりで汚れます。ときどき葉にスプレーしたり、湿ったガーゼなどで葉面をふいてやりたいものです。

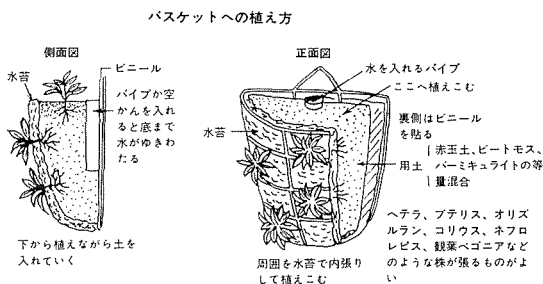
(4) 夏と冬の対策

夏の初めから秋口までの暖期は、とき折、鉢を半日ぐらい戸外の木洩れ日程度の明るさのところに出して、株の強化を図ってやります。また、冬季は室内の5℃以上の暖かくて湿度のある場所に吊したり、蔓を刈り込んで似かよった棚上などに置いて冬越しします。

(5) その他

吊り鉢とよく似て、草花や観葉植物で室内空間を飾るものに、ハンギングバスケットやハンギングタブローなどがあります(右図)

室内で楽しむ花と緑としては是非ともやってみたいものです。



花と建築

牡丹は、豪華で美しいことから、建築装飾に多く用いられており、牡丹唐草が創作されたり、唐獅子には必ず牡丹がつきものとされ、欄間や彫刻として、建築物に数多く用いられています。

透彫りで美しいのは宝蔵寺(滋賀県)の唐門、二条城や本派本願寺の欄間(いずれも梅、椿)、都久夫須麻神社本殿(琵琶湖)の牡丹があります。

また、本派本願寺の奥書院欄間の藤の花、大徳寺唐門の花しょうぶの彫刻も有名です。

2. 寄せ植えで楽しむ

草花の楽しみ方の一つに寄せ植えがあります。ことに室内に寄せ植えを飾ると、素晴らしい雰囲気生まれます。季節感を表す“正月用松竹梅”“クリスマス用寄せ植え”“ミニ観葉植物寄せ植え”等があります。

1. 寄せ植えづくりのポイント

- (1) 生育条件の似かよっている植物を組合せる。(日あたり、温度、湿度、水分必要量など)
- (2) 徒長せず、長期間鑑賞できる植物。
- (3) 用土の配合に気をつけること。
- (4) 飾る場所にふさわしい鉢を選ぶこと。

2. 草花の組み合わせ

- (1) 正月用松竹梅
松(黒松、五葉松)、梅(冬至梅)を中心に笹、南天、フクジュソウ、ユキワリソウ、ハボタン、ヤブコウジなど
- (2) 観葉植物を主体とする
アジアンタム、ペペロミア、ツデイ、ベンジャミンゴム、ポトス、アビス、ホヤ、レックスベゴニア、オリヅルラン、ヘデラ、ディフェンバキアなど
- (3) 鉢花を主体とする
シクラメン、プリムラ類、ポインセチア、シンビジウム、ベゴニア・センパフローレンス、リーガス・ベゴニア、アザレア、セントポーリアなど
- (4) 観葉植物と鉢花の組み合わせ
上記(2)と(3)を組合せる

3. 鉢

ぬり平鉢、ガラス製鉢、金属製鉢、プラスチック鉢、藤かご(外飾り用)等があります。排水孔のある鉢は受け皿を準備します。

4. 用土の配合

寄せ植用土は、排水、保水、保肥性の良いものが適します。用土の種類としては、田土(乾燥し粉碎したもの)赤玉土、バーミキュライト、パーライト、川砂、ピートモス、腐葉土等のうち入手しやすいものを選んで配合します。例えば、赤玉土2、バーミキュライト1、川砂1に緩効性の化成肥料を用土1ℓに5gを入れ混合します。この配合例は鉢花、観葉植物に利用します。正月用松竹梅は粘質な田土をベースとします。

5. 植えつけ

病気、害虫の被害、根づまり、下葉の黄変等を確めて、悪い部分を取り除き、寄せ植えします。

葉の色や形、花色等全体として調和をとります。

6. 管 理

- (1) かん水：表土が乾いたら十分かん水します。やりすぎて過湿になるのは禁物です。できれば水さしをを使用土全体にゆきわたるように、ていねいに行います。
- (2) 追肥：液体肥料800～1000倍液を鉢花は10日に1度、観葉植物は月に1度のめやすで施します。
- (3) 花がらつみ：鉢花で咲き終った花がらや、いたんだ葉はつみとります。

7. 寄せ植えづくりの方法—正月用松竹梅の例—

迎春に玄関や床飾りに松竹梅等縁起木を飾る習慣が江戸時代よりあります。

(1) 材 料

1) 植物の種類

種 類	適 し た 品 種
マ ツ	クロマツ、ニシキマツ、ゴヨウマツなど
ウ メ	冬 ^{とうじ} 主 ^{めい} 梅、一重(花色は白)。八重野 ^{やぶい} 梅(花色は白)。道 ^{みち} 知 ^{しる} 辺 ^べ 、一重(花色は桃)。寒 ^{かん} 紅 ^{こう} 一重または八重(花色は濃桃)紅 ^{べい} 千 ^ち 鳥 ^{とり} 、一重(花色は紅)など
タケ・ササ類	クマザサ、コグマザサ、シマザサ、オロシマチク、ヤクシマザサ、ホウオウチクなどの小づくりにした株を使う
ナンテン	赤実のナンテンと白実のナンテンを組ませ、紅白として用いることが多い。その他、オタフクナンテンなど
フクジュソウ	野 ^や 生 ^{せい} 種(一重、中輪、黄色)、福 ^{ふく} 寿 ^{じゅ} 海 ^{かい} (二重、大輪、濃黄色)、福 ^{ふく} 禄 ^{ろく} 寿 ^{しゅ} (二重、巨大輪、濃黄色)など
イワカガミ	野 ^や 生 ^{せい} 種
ヤブコウジ	野 ^や 生 ^{せい} 種
寄せ植えに使用するその他の植物	マンリョウ、シュンラン、ユキワリソウ、ショウジョウバカマ、ハボタン、カンギク、キチジョウソウ、

2) 鉢、用土等

	用 途
ア オ ゴ ケ	寄せ植えた根元を美しく引き締める。ギンゴケ、ホソバオキナゴケなどを用いる
石	寄せ植えの点景物として、水石、火山岩など、凸凹のあるおもしろみのあるものがよい
化粧砂	築山風、盆景風など、鉢の余白に化粧砂を敷くことにより、さらに美しさが増す。寒水(白)、蛇紋石(グレー)、富士砂(黒)、大磯(混色)などを3～5mm目のふるいでふるった砂を、1～2種用いる
用 土	(川砂) 水はけをよくするため、鉢の底部に敷く。3～6mm目でふるった少し粗目のもの (田土または荒木田土) 根固めに用いる。あらかじめ粘土状に練っておく (培養土) 植え込み用の土。赤玉土5、川砂3、腐葉土2の割合でよくまぜ、少し湿り気を与えておく (ケト土) アオゴケをはるとき、接着材の役目をする。よく練って、のり状にしておく
鉢	だいたい浅鉢を使用。形は小判、長方、丸など。釉薬 ^{ゆうやく} は、かかっていなくてもよい。鉢選びは、全体の形を考えてきめること。また、素材が多くある場合は、鉢を選んでから植込む材料をきめるのも一法であろう
防虫網・針金	鉢底の穴を防ぐ防虫網と、それを固定する20番ぐらいの針金(5～6cm)を数本用意する

(2) 構想—配置—

- ・材料の種類
- ・主材料(松・梅等)の大きさ
- ・仮配置

(3) 作業手順—多少の入替えはある—

- 1) マツ・ウメ・ササ等鉢植え株のまわりの土を1/3～1/2かきおとす(根鉢を小さくする)。
枯れ葉、枯れ根を切りとる。
- 2) 鉢、用土の準備
 - ・鉢底に防虫網又は鉢かさをおく
 - ・水はけを良くするためごろ土又は川砂を1cm位敷く。
- 3) 主、副の植物(マツ、ウメ又はウメ、マツ)の位置、向き、高さを決め固定する。鉢の前の部分はあけておく。田土を使う。
- 4) 添の植物をあしらう。大きさ、色等のバランスを考え植えつける。田土を使う。

- 5) 石を置く。石の形・全体のバランスを考える。
- 6) 余白部分に田土を入れる。全体を固める。
- 7) 十分灌水し、水切れをまつ(5分～15分間位)
- 8) コケをはる
- 9) 化粧砂を敷く。(寒水石・赤玉土等)
- 10) 鉢の汚れをねれ布でふく。

(4) 観賞期の手入れ

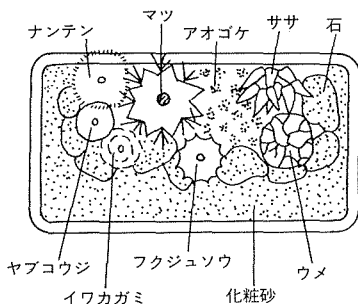
1) 置き場

- ・1日の温度差を少なくする(15℃差位)
- ・日あたりの良い場所

2) 灌水

- ・2～3日に1回・午前中
- ・水差しで静かに灌水する
- ・フクジュソウのつぼみにかけない
- ・ウメのつぼみに霧吹きを行えば開花が早まる

〔例〕寄せ植えの配置図



Q&A

花づくりこんなときどうする？

Q クンシランやオリヅルランは、なゼランと呼ばれているのですか？

A 植物学がまだ一般的でなかった時代に、平行脈をもった細長い葉の植物をランとまちがえたのです。

たとえば、ユリ科の植物では、オリヅルラン、ハラン、スズラン、ヤブラン、ヒガンバナ科の植物では、クンシラン、リュウゼツラン、ショウキランなどがその例です。

Q おもしろい名をもった植物を紹介してください。

A 動物、天然現象、産地名、植物の形質などがつけられています。

イヌサフラン、キツネノカミソリ、トラノオ、サギソウ、トキソウ、マツムシソウ、スズムシソウ(動物、鳥、虫)・アサギリソウ、カスミソウ、シモバシラ、ナツユキソウ(天然現象)、ヒャクニチソウ(百日草)、センニチコウ(千日紅)、ニチニチソウ(日々草)、(開花期間、花色の持続、開花の状態)などがあります。

3. テラリウムで楽しむ

テラリウムは一般的には、ガラス容器の中に植物を植えたミニガーデンといわれていますが、そもそもテラリウム本来の意味は、昆虫などの小動物を育てる飼育器のことをいいます。その中で植物が立派に育つということを発見したのはイギリスの外科医で、今から100年以上も前のことです。そしてその後、またたく間に世界中に広がったといわれています。

テラリウムを初めて見た人は、密封びんや小さな開口部しかないガラス容器の中で、植物が窒息しないで育っていることに疑問をもつかもしれませんが、植物は元気に育ちます。その原理は、密封びんの中に一定の空気と水分と光があれば、植物は光合成によって自ら新鮮な空気を生産し、水分は土中から蒸発しても、水滴となって密封びんの内側に結露し、ふたたび植物に降り注いだり、用土に戻ったりして循環しています。つまり、ガラス容器の中は、私達が住んでいる宇宙(地球)を小さくしたようなものであり、植物はその中で水や空気を自給自足して、生きているのです。

テラリウムには、その材料として、観葉植物が多く利用されるが、最近では、ミニ洋蘭と観葉植物をうまく組み合わせた、色彩のよい豪華なテラリウムを、各地の洋蘭展で見かけるようになりました。

テラリウムは鉢植え草花と異なり、管理が楽ですから、乾燥しがちな季節や場所でも、ガラスの透明感とみずみずしい緑の調和が楽しめます。

1. 飾る場所

容器内の温度が上がりすぎると植物が痛むので、直射日光の当たらない明るい場所が適しています。室内のどこに置いてもよく、好きなときに好きな場所で楽しめます。また鉢と違い、鉢穴から水もれの心配もなく清潔です。

2. 手入れ

水やりは、用土の表面が乾いてきたら霧を吹く程度の補給で十分です。肥料は、ミニの状態を維持したいので、伸びすぎ防止のためにも与えません。雑菌の繁殖を防ぐため、植物、容器、土とも清潔を保つようにします。

3. つくり方

容器……ガラス製のびん、水槽、スタンドガラスの加工容器など、好みのものを選ぶ。密封びんか、容器の口が小さいものほど、水分が逃げないので、湿度が保てます。

植物……明るい日陰を好むミニ観葉植物なら、ほとんどの種類が適しています。また、花を楽しむなら、ミニ洋蘭と観葉植物を組み合わせれば一層豪華になります。

一般草花類は、セントポーリアなど明るい日陰で咲くものを除いて、十分な日光を必要とするものが多いので、あまり向いていません。

用土……粒状で水もちのよい、形のくずれにくいものを使用します。赤玉土、パーミキュライト、ピートモス等を混合して使用します。

4. 植え込み

①



容器をよく洗って乾かし、底にゴロ土を敷き、その上に用土をびんの高さに応じて、1/6から1/4程度入れる。植える位置にスプーンで穴をあけて、根を入れて土をかける。

②



予定の配置に、植物の向きを加減しながら大きい植物から順に植えていく。

③



全部植え終わったら、全体のバランスを見て植物の傾きなどを直し、コルク棒などで用土の表面を押えて、植物を落ちつかせる。

④



霧を吹きかけて葉のよごれをとる。びんの内側の水気は、針金の先に綿を巻つけたものなどでふき取る。用土全体に浸み込む程度に水を与えて終わり。

4. 水栽培(ハイドロカルチャー)の楽しみかた

室内で園芸を楽しむ、そのことは今日ではごく普通のことで、珍しいことではありません。そして、土を用いず清潔な条件のもとで行われる球根草花の水栽培は、ヒアシンスやクロッカクについては、かなり古くから行われています。元来、球根草花は、花が咲くまでに必要な養分を球根自身の中に蓄えて休眠しているもので、適当な条件さえととのえば休眠は破れて生育を開始し、ぐんぐん根を伸ばし、茎葉が成長して花を咲かせるものです。

休眠している球根を呼びさます(休眠覚醒といいます)条件は、まず温度ですが、それぞれの種類によって多少の違いがあります。次に水分です。この二つの条件が満たされると、花芽の分化と発育、そして根が伸び始めます。

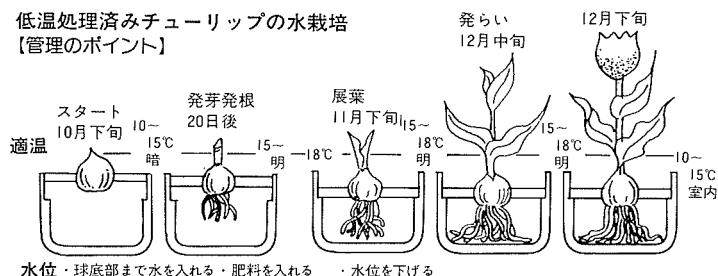
秋植え球根では、球根の掘り上げ貯蔵中の温度経過で、秋までに花芽の分化発育と幼根が球根内部で徐々に発育し、水分さえあれば発根伸長するばかりの状態となっていて、球根を水栽培ビンなどの器にセットして水を与えてやれば、いわゆる水栽培の開始ということになります。

1. 水栽培ができる球根の種類

水栽培は、その球根の貯蔵養分を消費しながら水だけで栽培するもので、ちょうどソウメンのように細く、白く、糸のように繊細な根と、緑色の茎葉、そして美しい花を眺めて楽しむ水栽培は、栽培開始時に既に養分と花芽を内蔵している秋植え球根が専ら用いられます。

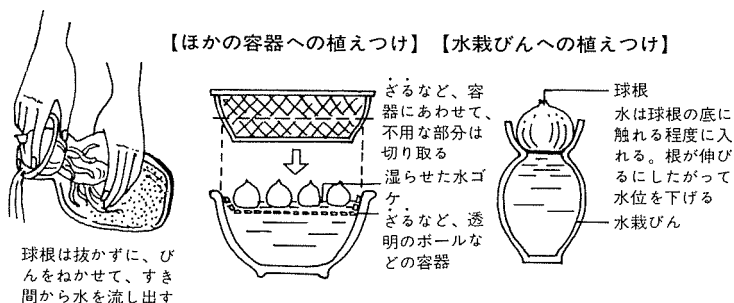
これは、春植え球根は球根の中の貯蔵養分が少く、茎葉が伸びて、それによって生産される養分で生育開花するため、ほとんど春植え球根は水栽培に用いられず、例外的にアマリリスが供されるくらいです。

低温処理済みチューリップの水栽培
【管理のポイント】



水位・球底部まで水を入れる・肥料を入れる・水位を下げる

- 植え込んですぐに暖かい室内に入れないこと（花が咲かなくなります）
- うっかりして水をきらさないように。
- 根が伸び葉も伸び始めてから日陰に置くのは禁物です。



水栽培が行われる秋植え球根のうちでも、ヒアシンス、クロッカス、スイセンなどが主体で、このほかにムスカリ、アリウム、シラー、その他2～3のものが可能ですが、あまり行われてはおりません。

なお、チューリップについては、従来、かなり困難とされてきましたが、富山県野菜花き試験場がその技術を開発して以来、チューリップの水栽培は全国的に普及しています(図参照)

2. 水栽培の開始

ヒアシンス、クロッカス、スイセン、チューリップなどの秋植え球根は、夏の暑いうちは、たとえ水を与えておいてもけっして発根してきません。しかし、秋に入って温度が低くなってきますと、水分さえあれば発根しようと待ちかまえています。

チューリップの発根適温が13℃前後であるように、おおかたの秋植え球根の発根温度はこれに近く、秋ぐちから球根底部の発根部が次第に盛り上がってきて、気温が15℃を下回るようになってきますと、水分があれば容易に根は伸び始めます。したがって、このころが水栽培の開始時期といってよく、あわてないで気温の低下状況をよく確めて取りかかることが大切です。この地方では、一般に10月中～下旬に行うのがよく、多少遅れて11月初めになってもよいでしょう。

開始が遅れた場合は、球底部の薄皮が破れて、根の先端が黒・褐変しているようなこともありますが、このような場合は、発根・伸長が大変悪くなるので、よく注意して避けたいものです。

3. 容器

ヒアシンスにはヒアシンスグラス、クロッカスにはクロッカスグラスが市販されているので、これを利用すると便利です。水栽培は、茎葉や花だけでなく、根の発育や美しさまで観察するものですから、透明な器を用いる方がより目的にかなうようです。

器によって1球、3球、5球など種々の型のものがあります。また、チューリップについては富山県花卉球根農業協同組合で、3球と10球の専用水栽培セット

を販売しています)

4. 水栽培の実際

- (1) 球根を選ぶ：大きくて硬く締まったもの、外皮に病痕や傷のないもの、とくに、ヒアシンスやスイセンでは、球根を押してみたとき、部分的に軟かいものは腐敗のおそれがあるので除きます。また、球根の大きさは、ヒアシンスでは直径が5 cmをこえ、発根部が小さくて締まりのよいものを選び、クロッカスでは直径が3 cmをこえる程度のものを選びます。クロッカスの球根は外皮が着いていると発根しにくいので、底の皮をむいてやります。
- (2) 置き場所：球根を水栽培ピンの皿部にのせ、発根部がヒタヒタになる程度に水を入れて、押入れや戸棚の中など暗くて涼しい場所に置きます。数日たてば根が動き始めたことがよくわかります。

根が容器の深さの半分以上に伸びたら明るい所に出しても大丈夫、あとは順調に伸びてくれます。しかし、日光の当たる場所は水温が上がって、水中にバクテリアや藻が発生してくるので、低温の場所を選んで置きます。

- (3) 水位に注意：根が2～3 cmになったころから容器の水位を少しずつ下げてやり、5～6 cmに伸びたら、球根と水面の間を3 cmぐらい離して、根に対する新鮮空気の供給をはかってやります。なお、水面と球底部に隙間があることは、球根腐敗を防ぐことにもなります。
- (4) 水の交換：気温・水温が割合高くなりがちな10～11月中は、7～10日に1回ぐらい、12月から寒中は1か月に1回ぐらい容器の水を換えてやります。
- (5) 低温にあわせる：根が伸びたからといって、すぐに暖かい部屋に入れて開花を急がせると失敗します。凍らない程度の低温の場所に40～50日置いて、十分に低温にあわせてから暖かい室内に取り込んで開花させます。

はじめから暖かい部屋に取り込むと、茎葉の伸びの不足、草姿の乱れ、開花の遅れなどを招いて失敗します。

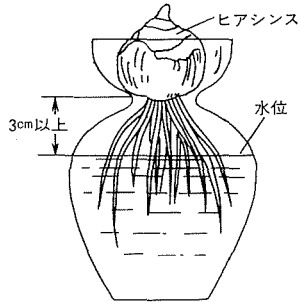
5. その他(水栽培に関連する2～3のことから)

- (1) スイセンのカニ作り：大球のニホンスイセンの水盤作りの一つで、球根の先端から僅かに葉先が出たところが適期、子球が3～4個ついたものが出来が良くなります。親球を中心にして一直線に並んでいるので、安定し易い方を下にして、下図のように球根の上面から、葉や蕾を包んでいる苞が出るまでけずり取り、それぞれの葉の縁を1 m/mぐらいそぎ取ります(各葉の先端は傷をつけず、約5 m/m下からそぎ取ります)球の中心の蕾を覆っている苞に傷をつけないよう慎重に行います。

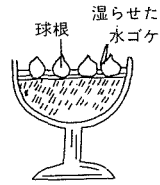
切り終えたら水盤に小砂利を敷いてその上に置き、切口を乾かさぬようにガーゼで覆い、球底が水に浸るまで水を入れて栽培します。

- (2) 水苔栽培：土や砂の代りに水を含ませた水苔を用いて栽培するもの、底に穴のない皿やガラスなど種々の容器に水を含ませた水苔をつめ、ここにヒアシン

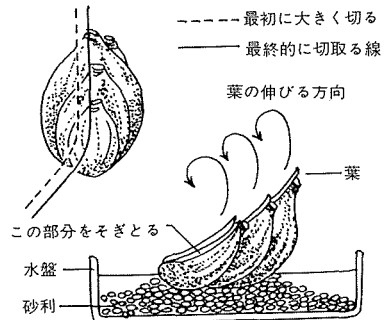
水位を下げるのがコツ



水苔栽培



スイセンのカニ作り



スイセンのカニ作り ニホンズイセンを使う

カニ作りの仕立て方

ス、クロッカス、ムスカリ、スノードロップ、スイセン、チューリップなど多くの球根を栽培する。水栽培の一種とも言えます。

みんなで楽しむ花づくり



高崎スミ子邸(富山市)



中太閤山小学校



上市中央小学校



出町小学校



黒部中央小学校



日本海電測KK(大沢野町)



栃谷美紀夫邸(富山市)



花の愛好グループ(魚津駅前)



西上老人会(城端町)



大森地区村づくり協議会(立山町)



弁財天公園(庄川町)



山岸生産組合(福岡町)



高岡市若杉



太田福寿会(砺波市)



春日自治会(高岡市)

1. 花だんづくりを倍に楽しむ

1. 花壇の種類

土地の広さ、形や、環境状況によりいろいろな花壇の楽しみ方があります。

(1) 毛せん花壇

草丈の低い草花をじゅうたんを敷いたような模様にした美しい花壇で、大規模なものは見ごたえがあります。多くは左右対称で鳥や動物などをデザインすることもあります。構成にあたって草丈が低く花、葉が密生する種類を用います。パンジー、ベゴニアセンパフローレンス、ペチュニア、サルビア、マリーゴールド、ケイトウ、テランセラ等、公園、芝生の中などに作ります。

(2) 寄せ植え花壇

中央を高くして、周囲から眺められるように草花を植え込む花壇です。中心に花木、ユツカ、カンナ、ダリア等丈の高いものを植え、サルビア、マリーゴールド等周囲に順次低いものを植え込み、足もとをひきしめるため縁取りをします。公園、ロータリー、玄関前などに作ります。

(3) 境栽花壇

後に草丈の高いもの、次に中位のもの、前に低いものを植え込む花壇です。一方ないし三方から眺めます。建物、構築物の前に作ります。

(4) リボン花壇

草丈の低いものを帯状に植え込む花壇です。道路、建物ぞいにアクセントとして作ります。

(5) 沈床花壇(上の4つは形状を示すがこれは位置を示すもので、この中にもいろいろな形状が取り込まれる)

道路から一段低くなった場所に作るものです。幾何学模様の左右対称なデザインになることが多く、公園等に作ります。

(6) その他

1) 水栽培花壇(池、水槽に水生植物を植え込みます)。

2) ロックガーデン(岩石を組合せて、山草、高山植物などを植えます)。

2. 花壇の配色

花壇の美しさは、色彩によってきまります。色の組み合わせについて、花壇の種類、草花の草丈、開花期を考慮して季節ごとにリズムをつくってやりたいものです。草花は葉茎の緑がベースとなっています。配色には季節感をだしたいものです。

表1を参照して下さい

(1) 1色または同系色の組み合わせ

赤と桃のような組み合わせはおだやかで、一体感のある調和のとれたデザイン

となります。

(2) 補色の組み合わせ

黄と紫のような組み合わせはコントラストを生かした鮮明なデザインとなります。

(3) 暖色と寒色の組み合わせ

赤、橙、黄等は暖色で、白、青、紫等は寒色です。これらの色の用い方で春、夏、秋の季節感を作ります。春は赤、黄。夏は白、青、黄。秋は赤、黄、白といった組み合わせが人の心をあたたかくも、涼しくもしてくれます。(表2参照)

3. 草花の選び方

(1) 種類は少なくします。

花壇の美しさを求めるためには、なるべく草花の種類を少なく、株数を多くして、集団の美を強調します。

(2) 花色は3～4色とします。

赤、黄、白の3色を使っても葉の緑と土の茶色が加わると5色になります。

(3) 気候条件に適した種類を選びます。

早春や晩秋には霜にたえる種類を、盛夏には高温、多湿に強い種類を選びます。

(4) 丈夫で作りやすく、開花期間が長いものを選びます。

(5) 草花の種類は表3、4、5、6を参照して下さい。

4. 花壇の縁取り

花壇は縁取りの仕方によって感じが違ってきます。

(1) 石材—大谷石、鉄平石、花こう岩、玉石など

(2) 加工材—れんが、ブロック、タイル、かわらなど

(3) 木材—焼丸太、杭、竹など

(4) 植込材料—低木(クサツゲ、イヌツゲ、サツキなど)

草物(リボングラス、ジャノヒゲ、タマスダレ、ヤブランなど)

(5) その他—空びん、コンクリートテスト、棒杭など。(図1参照)

5. 点景工作物

花壇と点景物が一体となって美しい環境を作りだすものです。

(1) 彫塑、日時計、レリーフなど。

(2) 池、壁泉、噴水など。

(3) パーゴラ、アーチ、トレリスなど。

6. 良い土の条件

良い土が花壇の草花にとって大切な条件です。

(1) 通気性があること。

根が十分育つには、空隙(空気→酸素を含んでいる)の多い膨軟の土であること。

(2) 保水力がある反面、排水が良いこと。

(3) 有機物を多く含んでいること。

(4) 土の酸度が適正であること。

- (5) 有害物質を含まないこと。

7. 土作りの実際

- (1) 客土をしよう。

肥沃な畑土や田土があれば、客土をします。この際、底土の排水をよくする努力も必要です。表層の土を一度に全部換えられなくても、少しずつでも良い土と換えてやりたいものです。

- (2) 毎年有機物を与える

- 1) 稲わら、落葉、雑草、もみがら等を材料に堆肥を作り最低でも 2 kg/m^2 は施してやりたいものです。
- 2) 近くに畜産農家があれば、きゅう肥を利用するのがよく、できるだけ完熟したものを用います。
- 3) 堆・きゅう肥がなければ、腐葉土、ピートモス、パーク堆肥などを与えます。

- (3) 石灰を施そう。

土壌酸度を適正にし植物体にカルシウムを供給するため、花壇植込みの7～10日前に消石灰を m^2 当り $100\sim 120 \text{ g}$ くらい施して土と良く混ぜます。

8. 肥料の施し方

- (1) 基肥には堆肥、油粕、鶏ふん、骨粉等の有機質肥料などと緩効性の化成肥料を併用すると効果的です。
- (2) 追肥には、尿素、熔成磷肥、硫酸加里、化成肥料等一般に効果の早い化学肥料を用います。
- (3) 基肥と追肥の割合は、 $1:1\sim 2:1$ を標準とします。

9. 苗の準備

花壇を1年中美しくたもつには、植えかえ数が多くなり、多数の苗が必要です。本県では早春～春までの花壇、夏～秋までの花壇、晩秋～冬までの花壇の3回が考えられます。

- (1) 定植間隔

草花の種類、苗の生育状況、花壇のデザインによっても異なりますが、標準的な間隔は表7、8のとおりです。

- (2) 植え込み株数

表9の早見表により苗の必要本株を出して下さい。

10. 手 入 れ

- (1) かん水

定植から活着までと夏のかん水がおもなものです。夏期日中の高温時をさけて朝か夕方かん水を行います。

量は 1 m^2 あたり 3 l 程度を標準として夏は十分に、春、秋はひかえ目にします。適量かどうかは地表下 20 cm 近辺まで水がしみこんだかどうかで判断します。

(2) マルチング

地表からの水分の蒸散を防いで乾燥を避け、雑草をおさえ、降雨時の土のはねかえりもなく病害を予防するためマルチングは効果的です。

材料は切りわら、落葉、ピートモス、もみがら等入手しやすいものを選んで行います。

(3) 除草、中耕

雑草はそのままにしておくと、肥料分や水分をすいとり、草花の生育が悪くなります。また通風が悪くなり病害虫の発生がみられます。

雑草は根気強く根ごと抜きとります。

中耕は除草をかねて、土を柔かくし、凸凹を多くして空気に触れる面積を増大するとともに通気と透水を良くします。

(4) 摘芯、刈込み

分枝を促し、株張りを良くし花数の増加や、草丈の調節と開花期をそろえる働きがあります。摘芯する種類は、サルビア、マリーゴールド、ダリア、コスモスその他、数多くあります。(図2参照)

茎の柔らかいもの、株の小さいものは草姿を整えるため刈込みを行います。刈込みする種類にはテランセラ、トレニア、クサツゲその他多くあります。

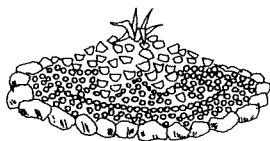
(5) 花から摘み

開花後一定期間をすぎると色があせて見苦しくなり結実を始めます。この状態が続くと脇芽の蕾が開花しなかったり新しい枝がでなくなったりして開花期の幅が短くなります。

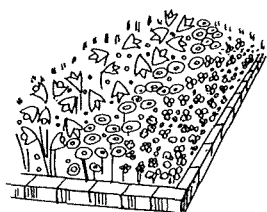
サルビア、マリーゴールド等その他対象となる種類は数多くあります。

花壇の種類

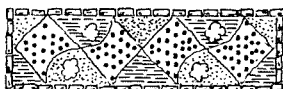
寄せ植え花だん



境栽花だん



リボン花だん



Q&A

花づくりこんなときどうする？

Q シクラメンを毎年買いますが、なかなか長持ちさせることができません。長持ちさせるにはどうすればよいでしょうか。また来年も咲かせることはできないでしょうか。

A 家庭での日常管理でシクラメンが早く「ダメ」になる原因として、次のことが考えられる。

- (1) 水のやりすぎ、特に受皿に水をいっぱいためている場合。
- (2) 光のあたらない部屋に置きっぱなしの場合。
- (3) 寒気のすき間風のあたる所におきっぱなしの場合。
- (4) ストープのすぐそばに置いてある場合。
- (5) 水やりを忘れて、何回もしおれさす場合。

以上のことをふまえて、水やりは鉢表土が乾燥した頃に、コップで茎葉にかけないように、鉢底穴から流れ出るくらいにたっぷりと与えます。また置

き場所は、ガラス越しに日光が当たる所で、多少寒くても置き場所を変えないことが長持ちさせる条件です。

冬から春にかけて咲き続けたシクラメンは、4月頃になると花が咲かなくなり、古い葉はだんだん枯れてきます。そのまま水を与え続けると球根から、また新しい葉が出てきて、引き続き育てることができますが、夏の蒸し暑さには弱く、病気が入りやすいので、水やりを中止します。水をやらなくなったことで球根は休眠状態に入ります。

9月になり、少し涼しくなった頃に球根を掘り上げ、根を半分位切り取り、新しい鉢に新しい用土で、球根の上部を半分くらい出して植えてやります。その後は、いままで通りの育てかたをして下さい。1週間に1回くらい液肥を与えて育てると、やがてつばみができて花が咲いてくれます。ただ花の咲く時期が多少遅れて翌年になるでしょう。



表1 花だんの配色効果一覧

春花だんの色彩による区別	色	白	黄	オレンジ	赤	ピンク	ブルー
	一二年草花	パンジー キンギョソウ デージー マーガレット フロックス スイートピー カスミソウ	キンレンカ パンジー キンギョソウ	キンセンカ キンシンカ	ポピー キンギョソウ ストック デージー ダイアンサス フロックス	ダイアンサス プリムラ キンギョソウ ストック スイートピー	シネラリア ラークスパー パンジー ロベリア
	宿根草花	アリッサム モス・フロックス プリムローズ	プリムローズ ルピナス	トリトマ ガザニア オリエンタルポピー プリムラ	ダイアンサス シャクヤク ポピー	ルピナス モス・フロックス フロックス ダイアンサス プリムラ	カンパニュラ ルピナス
夏・秋花だんの色彩による区別	色	白	黄	オレンジ	赤	ピンク	ブルー
	一二年草花	アスター ペチュニア バーベナ ジニア フロックス	マリーゴールド ナススタチューム ヒマワリ ジニア	コスモス マリーゴールド ナススタチューム ジニア	ケイトウ コスモス ペチュニア フロックス サルビア バーベナ ジニア	アスター ジニア インパチエンス ラークスパー ペチュニア バーベナ	アゲラタム ペチュニア バーベナ
	宿根草花	キク ゼラニウム フロックス ジャスターデージー	キク	キク	カーネーション キク ゼラニウム フロックス	キク インパチエンス ゼラニウム フロックス	カンパニュラ
	球根草花	アガパンサス ダリア ユリ グラジオラス	カンナ ダリア ユリ	ユリ ダリア	カンナ ダリア グラジオラス ペゴニア	アマリリス カンナ ダリア ユリ グラジオラス	アガパンサス シラー

表2 暖色・寒色の関係

暖色	赤・橙・黄
寒色	紫・青・緑
三原色	赤・黄・青
補色	赤と青緑・緑黄と青紫・紫青と黄橙・橙など

表3 花だんむき秋まき一年草(低性)(毛せん、リボン花だんにむく)

花 名	開花期	花 色	草 丈	備 考
アリッサム	4～6月	白、桃	10～15cm	防寒を要する
セキチク	4～7	白、桃、赤	10～30	三寸セキチク、五寸セキチク
ハナビシソウ	4～5	白、黄、赤、橙	20～50	直まき
バーベナ	4～9	赤、桃、紫、白	10～20	宿根草となる
パンジー	3～6	白黄、ビロード、朱、紫	10～15	春花だんの代表
デージー	4～5	白、桃、赤	10～15	春花だんの代表
フロックス	5～6	白、桃、赤、サーモン ピンク	20～50	パンジーの後植えによい
ロベリア	5～6	白、青、淡桃	15～25	防寒を要する
ワスレナグサ	5～6	空	10～20	パンジー、デージーの後植えによい

表4 花だんむき秋まき一年草(高性)

花 名	開花期	花 色	草 丈	備 考
カスミソウ	4～6	白	40～50	
キンセンカ	3～5	黄、橙	30～40	群植
キンギョソウ	5～6	赤、桃、白、黄、ピンク	15～25	矮性種、毛せん、寄せ植え花だん
ケシ	5～6	白、桃、黄	60～70	境栽花だん
スイートピー	5～7	白、藤、青	ツル性	垣根、アーチづくり
ゼニアオイ	5～6	淡紫紅、濃紫紅	60～90	背景植え
タチアオイ	6～8	白、黄、朱紅、黒紅	100～300	背景植え
ナデシコ	5～6	赤、桃、白	20～30	群植
ハルシャギク	7～10	ビロードの蛇の目	80～100	群植
フウリンソウ	5～6	白、桃、紫	60～100	群植
ヤグルマソウ	3～6	白、桃、青	40～100	境栽、寄せ植え花だん
ラックスパー	5	桃、紫	80～100	
ルピナス	4～6	白、黄、紫	70～80	境栽、寄せ植え花だん

宿根草、球根類は主として境栽、寄せ植え花だんに利用されます

表5 花だんむき春まき一年草(低性)(毛せん、リボン花だんにむく)

花 名	開花期	花 色	草 丈	備 考
アゲラタム	6～10月	白、紫、桃	15～60cm	ミゼットブルー、ブルーミルク
アリッサム	9～10	白、桃	10～15	春まきは夏を冷しく育苗すれば秋花だんに使える
インパチエンス	6～10	赤、桃、白	10～15	日陰地、樹木下によい
カイザイク	6～9	赤、桃	10～20	矮性種
ケイトウ	7～9	赤、黄、桃	10～20	ドワーフ・クリスタータ、ファイアーフ ェザー
サルビア	7～11	赤	20～40	セントジョンズ・ファイヤー
ナスタールチューム	6～10	白、黄、橙、朱	20～40	チェリースカーレットのような葉よりも花 がつきでるもの
バーベナ	5～9	紺赤、白、桃、紫	10～20	種をまけば宿根草となる
ハクニチソウ	7～10	赤、桃、黄、白	10～20	ツンベリナ、バトンジニア、サンビタリア、 メキシカーナ
フレンチ・マリーゴールド	6～11	黄、オレンジ、濃黄	20～25	ナギット種、プチ種、キュービッド種
ペゴニア・センパフ ローレンス	4～10	赤、白、桃	10～20	春まきは秋花だんに使える
マツバボタン	8～9	白、桃、赤、濃桃	10～15	縁とりに適する

表6 花だんむき春まき一年草(高性)

花 名	開花期	花 色	草 丈	備 考
アサガオ	7～9月	赤、桃、白、紫、青	ツル性	棚づくり、ベランダ、アーチ、バーゴラにからませる
オシロイバナ	7～10	黄、白、赤	50～60cm	
キンケイギク	7～9	黄	60～70	群植
キンセンカ	5～7	黄、橙	30～40	寄せ植え、境栽花だん
ケイトウ	6～9	赤、黄	30～60	背景植え、境栽花だん
コスモス	6～11	白、桃、黄	70～150	
サルビア	6～10	白、赤、紫	30～50	寄せ植え、境栽花だん
センニチコウ	8～9	白、赤、桃	50～70	夏花だん
テンニンギク	8～10	黄、橙、赤	50～60	境栽、寄せ植え花だん
ニチニチソウ	7～8	白、桃	40～50	夏花だん
ハボタン	12～1	白、赤	20～50	冬花だん
ハゲイトウ	7～10	赤、黄	50～150	背景植え
ヒマワリ	8～9	黄	150～200	
ヒャクニチソウ	6～10	白、黄、赤、朱	40～80	背景植え
ペチュニア	5～9	白、桃、赤、紫、サーモンピンク	50～70	フラワーポット植えによい
ハウセンカ	7～9	白、桃、赤	50～70	縁とり
マリーゴールド	6～10	黄、橙	30～70	境栽、寄せ植え花だん
ムギワラギク	8～9	黄、赤	70～80	
コリウス	6～10	赤、黄、橙	20～50	模様花だん
ルコウソウ	7～9	赤	ツル性	棚づくり、垣根づくり

Q&A

花づくりこんなときどうする？

Q 夕方や夜に咲く花には、どのようなものがありますか？

A オシロイバナ、ヨルガオ(ユウガオ)、オオマツヨイグサなどがよく知られています。また、香りがすばらしい種類には、ジンジャ、チューベローズ、ヒメノカリスがあります。サボテンのなかまの月下美人は純白大輪の花が咲きますが、夜7～8時に開き、3時間くらいでしぼんでしまいます。

そのほか、クレオメ、ツキミソウなども夜に咲きます。

Q 人工材料を用いず、自然の花で水中花がつくれますか？

A 水を入れたコップを利用すればできます。

コップに一杯水を入れ、カーネーションやアスパラガスの一枝を逆さにさし入れ、コップにピッタリとくつつく皿などでふたをして、両手で持って逆さにひっくり返せばよいのです。コップの水に閉じ込めた花や枝は、夏でも数日は生き生きとして氷柱のように見えます。

図1 花だんの縁どりのいろいろ

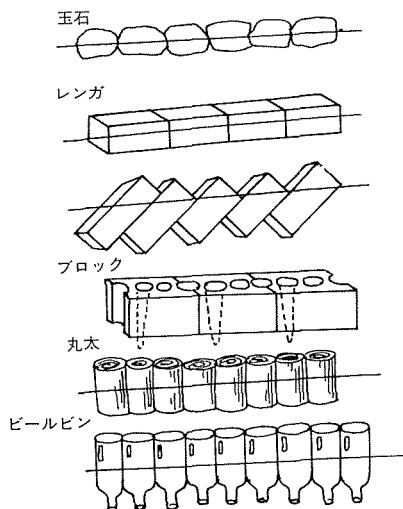


図2 マリーゴールドの摘芯

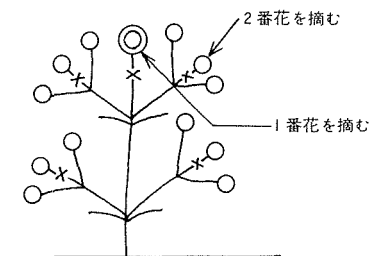


表7 定植間隔表(球根類)

定植間隔	草花名
5 ～ 15cm	オキザリス、ムスカリ、クロッカス、グラジオラス
10 ～ 20cm	ラナンキュラス、スイセン、シラー
15 ～ 20cm	グラジオラス、モントブレチア、ユリ、リアトリス、チューリップ、ヒアシンス、アネモネ
20 ～ 30cm	アマリリス、アイリス、ミニ・ダリア、カラジウム、カラー
30 ～ 80cm	ダリア、カンナ

表 8 定植間隔表(1、2年草)

定 植 間 隔	草 花 名	m ² あたり株数
15 ～ 20cm	パンジー、デージー、ワスレナグサ	44 ～ 45株
20	アゲラタム、アフリカホウセンカ、キンレンカ、コリウス、セキチク、スターチス、センニチコウ、トレニア、ペゴニア＝センパ、フロックス、ホウセンカ、ペチュニア、マツバボタン	25
25	アスター、キンギョソウ、サルビア、ジニア、ナデシコ、マリーゴールド(フレンチ系)、ヤグルマソウ	16
30	アサガオ、キンセンカ、ケイトウ、ハゲイトウ、マリーゴールド(アフリカン系)	11
40 ～ 50	ゴテチア、オシロイバナ、コスモス、ヒマワリ、クレオメ	6 ～ 4

表 9 花壇所要株数早見表(方形植え)

面積 間隔	15×15cm	20×20cm	25×25cm	30×30cm	40×40cm	50×50cm
40m ²	1,940株	1,100株	710株	490株	270株	180株
60	2,900	1,650	1,060	730	400	270
80	3,880	2,200	1,410	970	530	360
100	4,840	2,750	1,760	1,210	660	440
120	5,810	3,300	2,120	1,460	800	530
140	6,780	3,850	2,470	1,700	930	620
160	7,750	4,400	2,820	1,940	1,070	710

注 1) 実際の植込み株数より10%程度の余裕がみてある。

2) 端数は100m²の植込み数を按分して加えればよい。

＊誕 生 花

誕生花を知っていますか。
誕生花で素敵な贈り物を!!

生まれ月	花 の 名	生まれ月	花 の 名
1 月	ス イ セ ン	7 月	ダ リ ア
2 月	スイートピー	8 月	ヒ マ ワ リ
3 月	ス ミ レ	9 月	ナ デ シ コ
4 月	チューリップ	10月	コ ス モ ス
5 月	ス ズ ラ ン	11月	キ ク
6 月	バ ラ	12月	カ ト レ ア

2. 道路を彩る花づくり

歩行者や車の運転者、同乗者に、心をなごませる道路の草花は、すばらしい植物からの贈り物です。花を愛する心は、人間の自然への憧れの発露です。歩行者も運転者も、道路の草花を愛し、いたずらしないような心掛けが大切です。道路の花壇作りには、次のような点に留意しましょう。

- ◇ 交通安全について先づ留意します。特に草丈の高いものは交差点近くでは、運転者の視野をさえぎり、交通事故を誘発します。
- ◇ 道路は公共施設なので、草花の管理については、担当者を明確にします。
- ◇ 草花の種類を決める際、地域の道路にふさわしい特色のあるものを選びます。
- ◇ 草花の種類と花色は、あまり複雑にしないで、シンプルな構成にするのが望ましい。
- ◇ 花の種類によっては夜間、街路灯の照明で開花に変調を来すものがあるので、事前に調査が必要です。

1. 農道花壇づくりのポイント

- (1) 日あたり、通風の良い場所が多いので、好光性の草花を植えます。
- (2) 路肩に雑草が多いので、その防除について植付前に十分な処理をします。
- (3) 農作物の生育や、農作業について障害にならないようにします。
- (4) 路肩が傾斜しているため土が流亡しやすいので、傾斜部にイネ科牧草(ウイーピングラブリグラス、ケンタッキーブルーグラス等)を植えつけたり、ブロックを用いたりして土止め対策を行います。
- (5) 土質を良くするため、きゅう肥、稲わら堆肥、雑草を刈り集めた堆肥等を毎年十分に施します。
- (6) 農道花壇に適する草花として、雑草に負けない生育の旺盛なもの、また宿根性のものなどがよく、次のような例が考えられます。

カンナ、アメリカフヨウ、アフリカンマリーゴールド、サルビア、コスモス、シャスターデージー、ギボウシ、アスチルベ、ニチニチソウ、その他。

2. 街路花壇づくりのポイント

- (1) コンクリート、れんが、ブロック等により縁どりをした整った花壇やプランター花壇が多い。縁どりをした花壇では底面の排水が十分できることが必要で、もし底面がコンクリート面になっておれば、必ず排水孔を側面に設けます。
- (2) アーケードがある花壇では、日あたりが少なく、日陰にむく草花を用います。(インパチエンス等)
- (3) 市街地の街灯の光が強いところでは、サルビアが開花不良となるように、種

類によって開花異常となるものがあるので注意が必要です。

- (4) 未熟な有機質肥料は、はえが発生したり、悪臭がでるので施用しません。
- (5) 用土は排水性について特に気をつけ、田土、赤玉土をベースに、鹿沼土、腐葉土、ピートモス、バーミキュライト等から数種類選んで用います。
- (6) 街路花壇に適する草花としては、草丈が中位から低いもの、花数が多いもの開花期間の長いものを用います。

ベゴニア・センパフローレンス、サルビア、フレンチマリーゴールド、ペチュニア、アゲラタム、パンジー、テージー、ハボタン、その他。

3. 一般道路花壇づくりのポイント

- (1) 幅員の狭い道路から幅員が数十メートルに及ぶなど、さまざまな道路があります。また、歩道が分離されて花壇が縁どりされている道路、路肩を花壇として利用する道路等があります。
- (2) 自動車の利用が多い道路は花壇の幅は広く、長さはできるだけ長いことが運転者や同乗者の目を楽しませます。この際、草花の種類は一種、花色も一色とすれば、印象が鮮明となります。草丈は中・低のものを選びます。
- (3) 管理のうちで特に気をつけたいのはかん水です。晴天が続いた時は担当者は朝か夕方十分かん水を行う必要があります。
- (4) 雑草は、草花の植えつけ前に宿根性のスギナ、ヨモギ、メヒシバ等を根こそぎぬき捨てます。草花の生育中は、雑草が繁茂すればぬきとります。
- (5) 肥料は、やせた土が多いので基肥を十分に施し、草花の生育中は月に1回をめぐりにIB 化成肥料等を追肥します。
- (6) 一般道路花壇に適する草花

カンナ、マリーゴールド、サルビア、セキチク、コスモス、キバナコスモス、その他(注：カンナ、コスモス等は交通の妨げにならない場所を選ぶ)。

3. プランターで楽しむ草花

1. プランター利用の特徴

- (1) 移動可能のため、いろんな場所で草花を楽しめます。
ベランダ、室内、玄関、屋上、通路、道路、広場、公園等
- (2) 季節によって、日あたり、通風が加減でき、草花の生育を良くします。盛夏の直射日光を嫌うものは半日陰、室内に入れる等。
壁面を利用して吊り下げることにより、立体的な構成ができます。
- (3) 庭土のない場所でも草花を楽しむことができます。

2. プランターの種類

- (1) 木製
木製は材質に吸水保水性があり草花の生育が良く、おちついた感じを与えます。数年間で腐朽する欠点がありますので長持ちさせるため表裏を焼きあるいは塗装します。
- (2) 樹脂製
軽量で持ち運びが便利、衝撃や寒さに強く、使用年数も長く使えます。また簡単に汚れを落とすことができます。
- (3) コンクリート製
頑丈で、耐久性に富んでいますが重くて移動が困難です。
- (4) その他
手製でトロ箱、リング箱、木樽、古タイヤ等を改良して作ります。

3. プランターの形

長方形のものが多く、正方形、円形、三角形など種々あります。

4. プランターの用土

基本的には大きな鉢栽培といえましょうか。用土は通気性、保水性や排水性に富む用土作りを心掛けます。基本となる畑土や田土(乾燥して砕土したもの)または赤玉土に腐葉土、バーミキュライト、パーライト、ピートモス、バーク堆肥等から1～3種選んで、混ぜ合せ、草花の種類にあった配合土を作ります。手軽にすませる場合は園芸店でプランター用土として市販しているものを求めます。

用土配合割合は表1を参照して下さい。

5. プランターの容量

鉢物に比べて、多量の用土が必要になります。正方形や長方形のものは幅、高さ、奥行きを掛け合わせて、容量を計算します。なお、バケツ1杯分は約10ℓとして目安をたてて下さい。

6. プランターに適する草花

小型中型のプランターには草丈のあまり高くないもの、大型のプランターには草丈の高いものを選びます。開花期間の長いこと、栽培の容易なことも条件です。主な種類をあげると下記ようになります。

(1) 1年草

ペゴニア・センパフローレンス、サルビア、ペチュニア、アゲラタム、パンジー、デージー、コリウス、ハボタン、インパチェンス

(2) 宿根草

ゼラニウム、セキチク、ギボウシ、ポットマム、わい性カーネーション

(3) 球根

ダリア、チューリップ、クロッカス、アネモネ、カンナ

(4) 観葉植物

しだ類、アスパラガス、オリヅルラン、スパシフィラム、ゼブリナ、ペペロミア

7. プランターの肥料

栽培が長期間にわたるので、後半肥料不足になりがちです。施肥量の3/2くらいを基肥とし、多少高価でも持続性の高い緩効性の肥料を用います。表2を参照して下さい。これらの肥料は約1年間くらい効果があります。

追肥は4月～10月にN、P、Kの3要素を含んだ液体肥料または粒状化成肥料を月1回をめどに施します。液肥としてハイポネックス液肥、住友液肥1号、2号等があり化成肥料にはIB化成等があります。

8. 植えつけ上の注意

- (1) プランターの排水孔をたしかめる。栓のしてあるものは必ず栓を抜く。排水孔をあけるものは必ず孔をあける。
- (2) プランターの底にゴロ土(発泡スチロール片でも良い)を入れる。
- (3) 配合土をゴロ土の上に敷く。配合土に消石灰を少量まぜると良い。
- (4) 肥料を施し、また配合土を入れる。土の量はウオタースペースをあける程度まで入れる。
- (5) 植えつけ後底から水が流れるほど十分かん水する。

9. かん水

鉢物ほど乾燥しないが、用土が乾いたら十分かん水します。盛夏の朝、夕は2回必要になります。

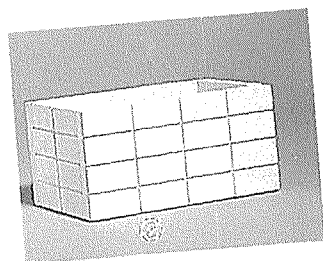
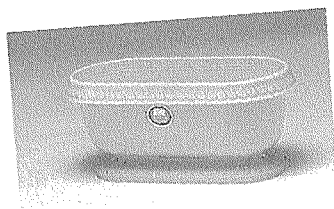
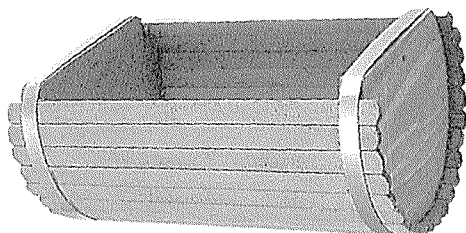
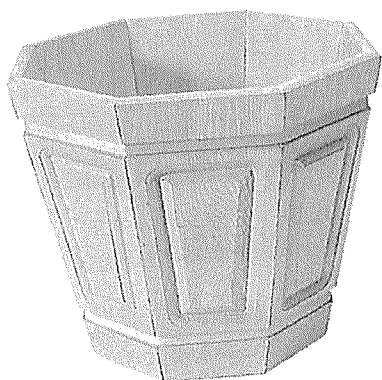
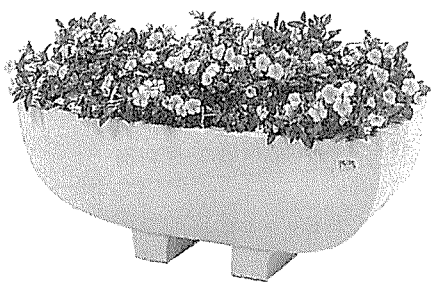


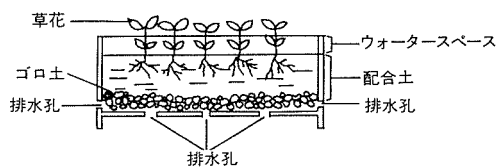
表1. プランター用土の配合例

	基本となる用土	補 助 用 土	肥 料
例 1	畑土、水田土 4～5	腐葉土 3～4 パーミキュライト 2	基肥
例 2	赤玉土 5	ピートモス 3 鹿沼土 2	基肥
例 3	山土 5	パーミキュライト 3 パーライト 2	基肥

表2 緩効性(持続性)肥料例

品 名	説 明
ハイボネックス微粉	花・葉の色を鮮やかにする水溶性肥料カーネーション・洋蘭・一般鉢物栽培の追肥に最適で、花の発色がよくなり、茎葉が丈夫になるバランスのとれた肥料。 (成分) N-6.5、P-6、K-19。
マグアンプK 大粒・中粒	少しずつ溶けて一年以上も効きつづける。長期持続肥料として各種園芸植物、鉢物の元肥に理想的な肥料。植物が必要とする時に溶けますので、肥料不足、肥やけ、植いたみの心配がありません。大粒と中粒があり、大粒は生育1年以上用(庭木、果樹、観葉植物)中粒は生育1年以下用(草花、球根、カーネーションなど)。
プロミック錠剤中粒	目で確認できる鉢植え用の肥料 速効・緩効・遅効の総合効果をもつ長期持続性の高圧錠剤肥料です。効果が3カ月持続し、カスが残りませんのでなくなれば補充します。 (成分) N-12、P-12、苦土-1、K-12、マンガン-0.1
プロミック [®] 小粒	プロミック小粒は育苗に必要な成分を植物に無理なく供給するよう計算されております。 成分は従来のプロミックと同成分に新しくホウ素(0.05)を加えております。 また、既存のプロミック錠剤の約半分(0.8g)のサイズとし、育苗用に最適な大きさとしております。 プロミック小粒は速効性と緩効性を兼ね備えており、灌水される水の量と土壌のバクテリアの働きにより、確実に吸収されながら効果を持続し、健康で均一な苗を作り上げます。
プロミックS	抜群の追肥効果、持続性も高い有機ブレンド肥料、高品質生産の新しい肥料で、連作に効果があります。肥料代の生産経費に占める割合はわずかですが、肥料の選択・施肥方法の誤りは生産収益に大きな変化をもたらします。プロミックSは置肥用として合理的な成分内容と立枯れ病の予防効果もあわせもった、高品質生産時代に必要とされている肥料です。 (成分) N-8、P-3、K-10。
ハイコントロール 70 日100日180日360日 タイプとも	使い易いコーティング肥料。 緩効性のコーティング肥料で、硝酸系肥料を特殊製法により樹脂で被覆。80%の窒素が溶出するのに、約70日かかる70日タイプ、約100日かかる100日タイプ、約180日かかる180日タイプの3タイプがあり、作物の種類、栽培型を考慮して最適タイプを選定して下さい。カリも溶出速度はほぼ窒素と同じです。また、土地を傷める硫酸根や塩素は含まず、生理的に中性です。 (成分) N-16、O-3、K-10

図1 プランターでの植えつけ



ベランダの飾り方

上層の階は戸外の緑が視点に入らないので観葉植物をあしらい人工芝を敷くと花が引き立つ

